

NO. 119
2015秋号

KGA GOLFER'S NEWS

関東ゴルフ連盟



関東倶楽部対抗
優勝
岡部チサン
カントリークラブ

関東倶楽部対抗特集号



関東女子
倶楽部対抗
優勝
ニッソー⁺
カントリークラブ

別冊
付録

保存版

2015年度 関東倶楽部対抗
2015年度 関東女子倶楽部対抗

出場全倶楽部 競技成績

鈴木 「レベル1」の主要な課題はゴルフの基本規則と、エチケットの励行です。これは全世界のゴルフアーチに亘って必修ですよ。R&Aで制作された教材は、JGAによって和訳されています。エチケットの映像には、「ゲームの最初最後は握手で」とあります。笑顔が慈やかさ、相手の嫌がることはしないといふのがエチケットの基本です。

——日本なら「礼に始まり礼に終わる」で、脱帽しての挨拶儀が一般的ですね。でも、エチケットが基本ルールと並んで重要視されるのは、他に理由があるのですか?

鈴木 重大なエチケット違反には、ペナルティを課されの場合があります。ただし、そのルール処置よりももっと土や習慣に馴染むのですか?

鈴木 全国約1500人が受講しています。そのうち関東は、平成25年の開始以来約550人です。KGA競技委員会は全員が「レベル1」をクリアしています。

——英国のR&Aのゴルフ教育プログラムは、日本の風土や習慣に馴染むのですか?

鈴木 「レベル1」の主要な課題はゴルフの基本規則と、エチケットの励行です。これは全世界のゴルフアーチに亘って必修ですよ。R&Aで制作された教材は、JGAによって和訳されています。エチケットの映像には、「ゲームの最初最後は握手で」とあります。笑顔が慈やかさ、相手の嫌がることはしないといふのがエチケットの基本です。

——日本なら「礼に始まり礼に終わる」で、脱帽しての挨拶儀が一般的ですね。でも、エチケットが基本ルールと並んで重要視されるのは、他に理由があるのですか?

鈴木 重大なエチケット違反には、ペナルティを課されの場合があります。ただし、そのルール処置よりもっと

——R&Aのゴルフ規則教育プログラム「入門ルールスクール(レベル1)」が、受講者に大変好評です。講義と試験かと思いましたが(笑)、人気の理由は?

鈴木 教室での講義はビデオ教材を多用し、誰もが経験しがちな失敗シーンなどでは、笑い声が起きます。屋外実習ではグリーンやバンカーで、よく起るルールの处置を体験します。

——受講後には、確かに試験があります(笑)。試験においても、当日の講義の理解度を確認する程度のもので「ゴルフ規則(ルールブック)」を参考しているのです。テストの合格者にはゴルフ規則の統括機関であるR&Aから修了証が授与されます。これはちょっと嬉しいですよ。(スクール体验が重要なので、ほぼ全員が合格とか)

——受講者は、何人ぐらいいるのですか?

鈴木 全国約1500人が受講しています。そのうち関東は、平成25年の開始以来約550人です。KGA競技委員会は全員が「レベル1」をクリアしています。

——英國のR&Aのゴルフ教育プログラムは、日本の風土や習慣に馴染むのですか?

鈴木 「レベル1」の主要な課題はゴルフの基本規則と、エチケットの励行です。これは全世界のゴルフアーチに亘って必修ですよ。R&Aで制作された教材は、JGAによって和訳されています。エチケットの映像には、「ゲームの最初最後は握手で」とあります。笑顔が慈やかさ、相手の嫌がることはしないといふのがエチケットの基本です。

——日本なら「礼に始まり礼に終わる」で、脱帽しての挨拶儀が一般的ですね。でも、エチケットが基本ルールと並んで重要視されるのは、他に理由があるのですか?

鈴木 重大なエチケット違反には、ペナルティを課されの場合があります。ただし、そのルール処置よりもっと



R&A「入門ルールスクール」で楽しく学ぼう 基本規則とエチケットは全ゴルファー必修です

鈴木 淳

(競技委員会規則部会部会長)



今年の開東アマチュアゴルフ選手権で、レフェリーを務める鈴木競技副委員長。
このケースは予備グリーン上のホールの処置。

——受講者は、何人ぐらいいるのですか?

鈴木 「レベル1」の主要な課題はゴルフの基本規則と、エチケットの励行です。これは全世界のゴルフアーチに亘って必修ですよ。R&Aで制作された教材は、JGAによって和訳されています。エチケットの映像には、「ゲームの最初最後は握手で」とあります。笑顔が慈やかさ、相手の嫌がることはしないといふのがエチケットの基本です。

——日本なら「礼に始まり礼に終わる」で、脱帽しての挨拶儀が一般的ですね。でも、エチケットが基本ルールと並んで重要視されるのは、他に理由があるのですか?

鈴木 重大なエチケット違反には、ペナルティを課されの場合があります。ただし、そのルール処置よりもっと

KGAでは今年の主催競技から「レフェリー制」を実施。「レベル2」の有資格者がレフェリーを担当し、競技会場コースの2~3ホールごとに常駐して、現場でスムーズにルール裁定ができるようにするのが「レフェリー制」です。

究極の「レベル3」は、トーナメントレフェリーを養成する指導者の資格。各国を代表するゴルフ団体の推薦を受けて、英国R&Aで合宿の講義が実施されます。日本では20数人が活躍し、鈴木副委員長はその一人です。(上は「レベル1」修了証)

CONTENTS

関東俱楽部対抗特集号

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 1 R&Aルールスクールの意義 | 54 決勝競技 |
| 基本規則とエチケットは全ゴルファー必修 | 関東女子俱楽部対抗(武蔵カントリークラブ・豊岡コース) |
| 鈴木淳KGA競技委員会副委員長・競技委員会規則部会部会長 | 予選競技 |
| 2 決勝競技 | 新潟会場(フォレストカントリー倶楽部・西コース) |
| 関東俱楽部対抗(東京ゴルフ倶楽部) | 60 長野会場 |
| 3 ブロック大会 | (上田丸子グランヴィリオゴルフ倶楽部 みまき・さくらコース) |
| 第1ブロック(紫雲ゴルフ倶楽部・飯豊コース) | 62 山梨会場 |
| 第2ブロック(富士小山ゴルフクラブ) | (オリムピックカントリークラブ ふじさくら・はなみずきコース) |
| 10 第3ブロック(立川国際カントリー倶楽部・草花コース) | 64 群馬会場(伊香保温泉カントリークラブ 赤城・榛名コース) |
| 12 第4ブロック(平川カントリークラブ) | 66 栃木会場(芳賀カントリークラブ 南・西コース) |
| 14 第5ブロック(スプリングフィルズゴルフクラブ) | 68 茨城会場予選(霞ヶ浦カントリークラブ・霞コース) |
| 予選競技 | 70 埼玉会場(越生ゴルフクラブ) |
| 16 新潟第1会場(越後ゴルフ倶楽部) | 72 千葉第1会場(新千葉カントリー倶楽部・つくもコース) |
| 18 新潟第2会場(妙高サンシャインゴルフ倶楽部) | 74 千葉第2会場(船橋カントリー倶楽部) |
| 20 長野会場(諏訪湖カントリークラブ) | 76 東京会場(東京みゆうりカントリークラブ) |
| 22 山梨会場(北の杜カントリー倶楽部) | 78 神奈川会場(葉山国際カントリー倶楽部・エメラルドコース) |
| 24 群馬第1会場(妙義カントリークラブ) | 80 静岡会場(沼津ゴルフクラブ 愛鷹・伊豆コース) |
| 26 群馬第2会場 | 82 新規加盟倶楽部のご紹介 |
| (サンコーセブンカントリークラブ・東コース 赤崎・藤倉コース) | 84 トピックス |
| 28 栃木第1会場(レイクランドカントリークラブ) | 85 from KGA |
| 30 柏木第2会場(烏山城カントリークラブ・三の丸コース) | |
| 32 柏木第3会場予選(鹿沼カントリー倶楽部・鹿沼コース) | |
| 34 茨城第1会場(筑波カントリークラブ) | |
| 36 茨城第2会場予選(茨城ゴルフ倶楽部・西コース) | |
| 38 埼玉第1会場予選(鴻巣カントリークラブ) | |
| 40 埼玉第2会場予選(川越カントリークラブ 中・西コース) | |
| 42 千葉第1会場(新青ゴルフ倶楽部) | |
| 44 千葉第2会場(カントリー倶楽部成田ロイヤル) | |
| 46 千葉第3会場予選(千葉県立ゴルフクラブ 東・南コース) | |
| 48 東京会場(武藏野ゴルフクラブ) | |
| 50 神奈川会場(湘南カントリークラブ) | |
| 52 静岡会場(沼津ゴルフクラブ 愛鷹・伊豆コース) | |



撮影/関東ゴルフ連盟広報委員会 統括 塚原 原(KGA広報委員長)
撮影/塚越克一(KGA広報副委員長 大竹 茂(KGA広報委員) 久保田昌幸(KGA広報委員)
取材/西田美千子(KGA広報委員) 本條 強(KGA広報委員) 福島 靖(KGA広報委員会参与)

関東女子倶楽部対抗 武蔵カントリークラブ・豊岡コース

実力の埼玉・岡部チサンCCが 強豪千葉勢に競り勝つ

8月3日(月)の東京ゴルフ倶楽部は、朝から雲ひとつない快晴だった。風もないで関東倶楽部対抗決勝競技に出場する、23倶楽部の23枚の倶楽部旗が、テラスに掲げられていた。気象予報では最高気温33度以上だそうで、暑い1日になりそうだ。

国内最大規模の団体競技には、

Aクラス(55歳以上)とBクラス(年齢制限なし)の、代表選手138名、1倶楽部6名が出場する。チーム戦は競技の展開が読めないが……。

練習クリーンに小川透(岡部チサンカントリークラブ)がやつてくる。「(今年限りの長尺バター使用で)バットの調子はいつもどおりです。団体戦は気合いが入りますが、チムウエアは少し地味すぎたかな?」関東の参加380倶楽



17番ホールのいわゆる“アリソンバンカー”から脱出。



部の頂点に立つとは、朝の時点では想像していなかつただろう。

結果から見れば、Bクラスの最優秀選手賞を獲得した富士カントリー笠間俱楽部の太田智喜。昨年の関東ミッドアマで初優勝は「東京GCでは、多少は自信のある飛距離も通用しません。最近はバー代イーもないんですよ」と、スタート前はまったくの弱気だったが、「70」のラウンドはあくばれ。

レジエンドの風格漂う袖ヶ浦カンツリーカラブの阪田哲男は、人々の注目的。昨年の袖ヶ浦CCは13打差の庄勝だつた。阪田キャブテン自らが「70」ストロークで、Aクラスの最優秀選手賞に輝いたのだから、注目されるは当然だろう。しかも阪田は通算100勝にあとひとつと迫りながら、昨年のこの大会以来競技から遠ざかっている。その阪田が眞面目な(?)顔で言う。

「台本を考えて、私と中部隆君を最終スタートにしたんです。ここ東京GC所属だった故・中部銀次郎氏の長男の隆君が、東京GCの創立百周年を祝つて、父のホームコースで、最後に逆転優勝をするというストーリーです」

競技の終盤、続々と代表選手がホールアウトして、スコア集計の度に順位が変動する。千葉の強豪チーム勢に、埼玉の岡部チサンCCと、静岡の葛城ゴルフ倶楽部が加わっての混戦模様となってきた。

結果は昨年の覇者、袖ヶ浦CCを3打リードして岡部チサンCCの初優勝。さらに今年が初出場の葛城GCが、2位の袖ヶ浦CCと同スコアで堂々の第



関東倶楽部対抗決勝競技

平成27年8月3日(月) 参加倶楽部数23 出場選手138名



優勝 岡部サンカントリークラブ／295ストローク



2位 袖ヶ浦カントリークラブ／298ストローク



3位 葛城ゴルフ倶楽部／298ストローク



4位 習志野カントリークラブ／299ストローク



5位 東千葉カントリークラブ／300ストローク

最優秀選手賞



右から。
Aクラスの
小川、佐々木
浮ヶ谷、出山
の各選手。
Bクラスの
太田選手。



左から。東京GCの木内理事長、廣幡大会会長。



右上から。●6位／富士カントリー笠間倶楽部／302●7位／絶武カントリークラブ／303●8位／水戸グリーンカントリークラブ／304●9位／小田原ゴルフ倶楽部松田コース／305●10位／平川カントリークラブ／305●11位／水戸・ゴルフ・クラブ／306●12位／宇都宮カントリークラブ／306●13位／富士サンカントリークラブ／307●14位／松ヶ峰カントリー倶楽部／308●16位／扶桑カントリー倶楽部／310●17位／赤城ゴルフ倶楽部／311●18位／津久井湖ゴルフ倶楽部／312●19位／富士宮ゴルフクラブ／312●20位／謙防湖カントリークラブ／313●21位／南総カントリークラブ／313●22位／初穂カントリークラブ／321●23位／東京ゴルフ倶楽部／322

DATA Aクラス 6494Yards Par72 / Bクラス 6781Yards Par72 ● 最優秀選手賞Aクラス・佐々木清士(葛城)、小川透(岡部サン)、出山泰弘(水戸グリーン)、浮ヶ谷信夫(絶武) 70 ● Bクラス・太田智喜(富士笠間) 70 ● 時候: 晴れ 気温: 33.2度 / 風向: 北西 / 風速: 2.1m/s



3位、第4位の習志野カントリークラブ
はトトタル299打 第5位に入賞
の東千葉カントリークラブが、4人の
合計で300ストロークというハイレ
ベルの戦いだった。

岡部サンCCの初優勝は快挙と同
時に、毎年の優勝候補にしてはむしろ
遅すぎた。竜臺ひしめく埼玉第
2会場(子運)では、毎回ダントツで
トップ通過する実力派チームだ。岡部
サンCCの小川透きやブテンは、A
クラスの最優秀選手賞も獲得して、二
重の喜びを語る。

「40年間も関東倶楽部対抗に参加して
いますが、こんなに嬉しい優勝はありません。やはりチーム戦は感動も大きい
んですね」

誰もが驚いたのが葛城GCの3位入
賞だ。でも安藤勤キヤブテンはいたって
冷静で、初出場にしてすでに来年の目
標を立てていた。

「予選競技からプログ大会で調子の出
なかつた選手が、決勝競技では実力以
上に頑張りました。ここまで車で4時
間かかり、練習ラウンドは1回がやつと
でした。これからも遠征の不利はある
ですが、来年はもう一段上へ、再来年
はさらにその上へ」とと安藤キヤブ
テンは自信をのぞかせる。

今大会の最長の遠征は、長野からの
諫訪湖カントリークラブだった。なんと
片道5時間半もかかったとか。関東は
広い。そしてタフだ!



決勝進出俱楽部

平成27年6月22日(月) 参加俱楽部数16 / 通過俱楽部数3



1位 初穂カントリークラブ／302ストローク



2位 赤城ゴルフ俱楽部／307ストローク



3位 松ヶ峯カントリー倶楽部／311ストローク

ベストスコア賞



Aクラスの
梅澤選手。



左から。Bクラスの福富選手、
飯塚選手。



スコアボードを真剣に見る選手と関係者。



紫雲GCの
牧野理事長。
齊藤大会会長。



飯豊コース14番ホール。



スタート前のボール確認。



プロフェッショナル登場

紫雲GC・富田三千夫グリーンキーパー

深刻な松食い虫被害を 地域の力で防衛しています

競技当日のグリーンセッティングは、刈り高4.0ミリ、速さ10.5フィート、コンパクション10と、数日前からの散水調整と前日に転圧をかけ、良いコンディションを保つことができました。天候にも恵まれましたが、選手の皆様には普段の実力を存分に発揮できるよう、コース管理一同全力で準備にあたってきました。開場から50年が経過し、当俱楽部を象徴する赤松林が松食い虫の被害で、深刻な問題となっています。地域の方々と連携し、終息するまで防除を続けていきます。



第1ブロック大会の開催日は、3日前の梅雨入りで心配された雨も朝方だけ、日中は絶好のゴルフ日和となりました。当俱楽部はかつて長堤十里の桜の名所と言われた加治川河畔に、その加治川が日本海に注ぐ右岸に赤松林でレイアウトされた36ホールです。昭和40年に開場し、本年開場50周年を迎えます。この間、昭和58年に「第51回日本プロゴルフ選手権」、平成20年には「第41回日本女子オープンゴルフ選手権」を開催いたしました。

大会会場となりました飯豊コースは、平成7年に増設いたしました近代ゴルフに造詣の深いデニス・グリフィス氏が意匠をほどこした、アメリカンスタイルの戦略性の高いコースです。当日の競技は午前8時にアウトドーンからスタートし、時間の経過とともにコースを渡る涼風に、選手の緊張も次第に和らいでいるようでした。

競技の結果は、遠方より出場され移動の疲れも見せず、群馬県勢の2俱楽部が上位を占めました。決勝競技に出場される3俱楽部のご健闘を祈念いたします。

表彰式は競技の緊張から解放され、なごやかなムードのなか、豊泉競技担当委員長の成績発表に続き、齊藤大会会長の講評と当俱楽部を代表して牧野



開催俱楽部、紫雲GCの代表選手と関係者。

理事長の謝辞、さらには1位の初穂アントリーカントリークラブの井川キャプテンの挨拶が行われたのち、戦いを終えた選手の皆様は、それぞれに健闘を称え、帰路につきました。

最後に、本競技がスマーズに運営できましたことは、競技委員の皆様にはじめ、参加俱楽部の選手ならびに関係者の皆様のご支援とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

(紫雲ゴルフ俱楽部支配人 岩村正二)



1

第1ブロック大会

紫雲ゴルフ俱楽部

飯豊コース

新潟・群馬

決勝進出俱楽部

平成27年6月25日(木) 参加俱楽部数17 / 通過俱楽部数3



1位 葛城ゴルフ俱楽部 / 301ストローク



2位 諸訪湖カントリークラブ / 301ストローク



3位 富士チサンカントリークラブ / 305ストローク

ベストスコア賞



左から。Aクラスの佐々木選手、Bクラスの茅野選手。



左から。富士小山GCの平本キャプテン、長田常務取締役支配人、島田競技担当委員長。



富士小山GC研修会の皆様によるお見送り。

決勝大会への切符を手にいたしました。

今回、当俱楽部は開催俱楽部シードでプロック大会からの参加をいたしました。各選手とも力一杯プレーをしましたが、惜しくも4位となりました。この悔しさを糧に、来年の県大会では巻き返しを期待したいと思います。また決勝競技に進む3俱楽部と決勝シリードの富士宮ゴルフクラブには、東京ゴルフ俱楽部での活躍を期待し、ご健闘を祈念いたします。

最後に、本競技開催にあたり、児島競技委員長をはじめとするKGA競技委員の皆様、また参加各俱楽部の皆様、そして当俱楽部研修会・平本会長をはじめとする会員の皆様のご協力のおかげで、無事に終了できましたことをあらためて深く感謝申し上げます。(富士小山ゴルフクラブ副支配人・杉山昭)



開催俱楽部、富士小山GCの代表選手と関係者。



富士小山GCチームの活躍。左から。井上、塙谷、山口、杉之間、西田の各選手。



富士山の東麓にゆつたりと広がる富士小山ゴルフクラブは、元通信省事務次官、日本曹達社長の大和田悌二氏を中心財界有志20名が発起人となり、中村寅吉プロ設計により小山・御殿場地区5番目のゴルフ場として昭和37年にオープンいたしました。

当俱楽部での大きな競技会開催は、昭和57年に「第33回関東オーブンゴルフ選手権」、昭和62年および平成21年の「俱楽部対抗県予選」競技の開催があります。今年は静岡・5俱楽部・山梨・3俱楽部・長野・5俱楽部・そして昨年度決勝大会成績によるシード俱楽部(3)の計16俱楽部の強豪チームと、開催コース(富士小山GC)を合わせた計17俱楽部が集う第2ブロック大会に選ばれましたことは誠に光榮であり、選手および関係者の皆様に満足いたしました。今年は冬季の大雪もなし、4月にふさわしい舞台を整えるべく、コースメンテナンスと準備を進めてまいりました。

当俱楽部は標高550m~600mに位置し、富士山と丹沢山系に囲まれた地形のため局地的な前線が発生し、当地方だけが雨や雪になることがあります。「御厨の私雨」とも呼ばれていました。そのため静岡県内でも日照時間が少なく、冷涼多雨という気候とあわせ、歴代のグリーンキーパーは芝の生育、ケ

リーンのコンディション維持には頭を悩ませてきたと思います。

当俱楽部のグリーンの芝種ベンクロスは葉が広く、低刈りできない性質のため、グリーンスピードを出すには目上散布・転圧となります。が、天候に左右される作業のため、練習日の段階から

速さを出すように指示されたグリーンキーパーが、当らない週間天気予報を見ながら、頭を悩ませていたようです。

幸い今年は冬期の大雪もなし、4月

こそ日照は少なく雨が多かったものの、速さを出すように指示されたグリーンキーパーが、当らない週間天気予報を見ながら、頭を悩ませていたようです。

幸い今年は冬期の大雪もなし、4月こそ日照は少なく雨が多かったものの、速さを出すように指示されたグリーンキーパーが、当らない週間天気予報を見ながら、頭を悩ませていたようです。

春先から練習ラウンドにお見えになつたある強豪俱楽部の選手が、「何回も富士小山に来ていていますが、このグリーンは本当に難しい。富士山から順位というのはわかりますが、そうではないホールもあります。グリーンが高速になつたとき、読みを信じて1打のバットをしつかり打てるか……。それが印象的でした。

さて大会が近づくと気になる週間天気予報は、梅雨真っただ中にもかかわらず、大会前日(24日)と当日(25日)だけ晴れ間が出る予報。そして翌日は雨模様という予報です。前日が好天に

遠くの富士山より
近くの「小山」

(富士小山GCの戦略性の高さ誇る会員同士の格言)



●左グリーン(ベンクロス)使用。刈り高3.6ミリ
ステイングメーター10.4フィート、コンパクション23。
フェウエイドラフは野芝、ティーはベント
(一部野芝)。

●当日の天候(11時) 気温25度、風速 東の風2.6m/s 8

決勝進出俱楽部

平成27年6月23日(火) 参加俱楽部数22 通過俱楽部数4



1位 小田原ゴルフ倶楽部松田コース／296ストローク



2位 岡部チサンカントリークラブ／297ストローク



3位 津久井湖ゴルフ倶楽部／300ストローク



4位 秦野カントリークラブ／301ストローク



左から、立川国際ccの榎本支配人、佐藤大会会長。



競技中は応援にも力がこもり、拍手はもちろん、大きな声援が飛び交うこともあり、グリーン上の選手もギャラリーへの応援に笑顔で応える、なごやかな一回も垣間見ることができた大会でもありました。

競技結果は決勝に進出する優勝から4位までが、5ストローク差のハイレベルな争いとなりました。残念ながら我が俱楽部の決勝進出はなりませんでしたが、選手と応援の皆様が一休になつた姿に、来年以降の活躍の期待を膨らませました。

本競技開催にあたり、竹村競技担当委員長をはじめKG-A競技委員の皆様には多大なご指導、ご協力を賜り御礼申し上げます。また各俱楽部の選手、応援の皆様のご協力のお蔭で大会が無事に終了できましたことを感謝いたします。

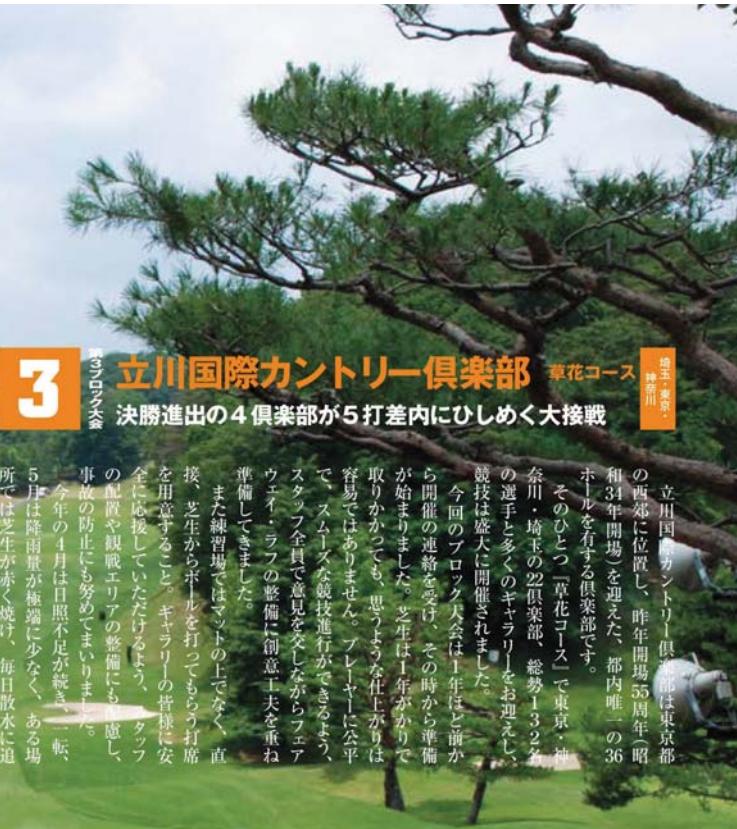
(立川国際カントリー倶楽部支配人・榎本正)



練習は天然芝の上から。



グリーンは11フィート。



開場56年目の36ホールは
6月の“滋雨”で完全復調。
晴天微風のもとに22倶楽部が集結。



開催倶楽部、立川国際CCの代表選手と関係者。

決勝進出俱楽部

平成27年6月22日(月) 参加俱楽部数23 通過俱楽部数5



1位 東千葉カントリークラブ／299ストローク



2位 扶桑カントリー倶楽部／303ストローク



3位 宇都宮カントリークラブ／304ストローク



4位 平川カントリークラブ／305ストローク



5位 南埼カントリークラブ／307ストローク

1位 東千葉カントリークラブ／299ストローク



平川CCの八巻キャプテン。

渡邊大会会長。

三橋好文(成田ヒルズ) 70

庄司由(東千葉) 67

ルアウトしました。

結果は東千葉カントリークラブが、

頭ひとつ抜け出る形の第1位で通過を

決め、決勝進出ライン上には4打差に

4チームが入る接戦となりました。

当俱楽部は開催俱楽部の地の利を活

かし第4位という結果で、悲願の決勝競

技へ初めて駒を進めることができました。

出場選手はどこより俱楽部会員、関係者

の驚きと喜びは一入でございました。

最後になりますが、本大会開催にあ

たり、大会会長・渡邊の助様、露木

競技担当委員長をはじめとする競技委

員ならびに運営委員の皆様、そして各

俱楽部の関係者の皆様のご支援ご協力

により、無事競技を終了

できましたことを、本書

をお借り致しまして、心よ

り御礼申し上げます。(平

川カントリークラブ 取締役
支配人・神保 操)

ロック大会が、当俱楽部にて開催されました。俱楽部対抗と言えば通常の個人競技とは一線を画し、選手の方々は所属俱楽部の名前を背負い、多数のギヤラリー・関係者のなかで団体戦ならではの、緊張感に包まれながらハイレベルな戦いを繰り広げます。

そのような由緒ある本競技を成功させるべく、私どもは今までの経験を基に改善すべき点を改め、開催俱楽部の名に恥じぬ円滑な運営ができるよう密に連携を取り、コースメンテナンスに関しましてもギバードはじめ管理スタッフ一同、少しでも良いコースコンディションで皆様をお迎えしたいと、日々準備に取り組んでまいりました。

梅雨入り後ということもあり不安定

な天候が続いておりましたが、祈るよ

うな気持ちで迎えた競技当日は、幸い

一日を通して晴り空のもと、時折り太

陽が顔をのぞかせるような、ますます

な天候となり安堵しました。

早朝から各俱楽部の応援団の方々が多数来場し、俱楽部対抗ならではの雰囲気のなか、競技は定期どおりのスタート。プレーの進行も競技委員の皆様のご尽力によりスムーズに進行し、白熱した試合が繰り広げられました。ラウンドを終えた選手が続々とスクア確認を終え、23俱楽部の選手全員が無事ホー

コースレート73.5の難コースも競技用ティーのベストスコア賞(B)は驚きの5アンダー!



Green Keeper



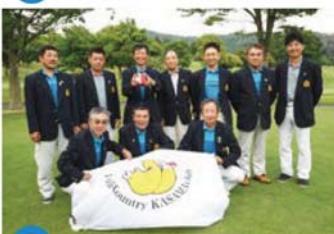
武田正人
グリーンキーパー。

決勝進出俱楽部

平成27年6月23日(火) 参加俱楽部数22 / 通過俱楽部数4



1位 習志野カントリークラブ／295ストローク



2位 富士カントリー笠間俱楽部／296ストローク



3位 水戸グリーンカントリークラブ／296ストローク



4位 水戸・ゴルフ・クラブ／300ストローク



左から、スプリングフィルズGCの
船越理事長、草野大会会長。



ゴルフ・クラブ、5位に茨城ゴルフ俱
楽部という接戦となりました。
当日は大きなトラブルもなく、この
伝統ある競技を無事終えることができ
ました。
(スプリングフィルズゴルフクラブ
セールスマネージャー・大月善行)



スプリングフィルズゴルフクラブ
強豪千葉と茨城の上位3俱楽部が1打差の接戦

第5回大会

5

平成27年度関東俱楽部対抗第5ブロック大会が6月23日(火)、当会が6月23日(火)、当スプリングフィルズゴルフクラブにて開催されました。関東俱楽部対抗競技としては平成19年の茨城第1ブロック予選以来、2回目の開催となります。

当俱楽部は昭和61年にオープンし、四季豊かな思まれたフラットな地形と、大小10個の池が絡む林間コースです。数日前までの不安定な天候のなか、競技当日は梅雨の晴れ間で迎えることができました。

6時開場。クラブハウスのオープンとともに続々来場された各俱楽部の代表選手は定刻の7時30分に、多くの応援団やギャラリーに見守られてスタートして行きました。

俱楽部対抗の独特の雰囲気のなか、決勝大会に進出する上位4俱楽部に入るべく、熱戦が繰り広げられました。

結果は295ストロークで習志野カントリークラブが1位、2位は富士カントリー笠間俱楽部と3位の水戸グリーンカントリークラブが同じ296ストローク。残り1枠をかけた争いも300ストローク同士で、4位は水戸・



開催俱楽部、スプリングフィルズGCの代表選手と関係者。



フェアウェイ左右の
巧妙なうねりが
ゲーム性をさらに高める。

越後ゴルフ倶楽部

全社員一丸での除雪作業で新緑と再会した感動

1 第1ブロック

関東倶楽部対抗新潟第一会場予選競技が5月28日(木)に、当倶楽部で17倶楽部が参加して行われました。当日は快晴・微風・最高気温29度・グリーンスピード9・8[cm]と絶好のコンディションのもと、大熱戦が展開されました。

越後ゴルフ倶楽部の今冬は暖冬結果で、昨年より1割ほど多い最高積雪が4割まで行きました。

4月28日のキャラバン会議には、なんとしても視察プレーをしていただきたい思いで、懸命なコース除雪作業を行いました。

ス上には残雪が60センチあまり、吹きだまりでは2割あまり残り、視察プレーはまったく不可能でした。各倶楽部の参加者の皆様には誠に申し訳なく、お詫びの連続でした。

指し選手強化を行ってきた結果、見事に準優勝でブロック大会に駒を進めることができました。

本競技にはKGAはじめ、多方面の方々より絶大なるご協力をいただき成功させることができ、深く感謝申し上げる次第です。(越後ゴルフ倶楽部支配人・波田野文和)

1位 十日町カントリークラブ / 297ストローク

2位 越後ゴルフ倶楽部 / 303ストローク

3位 松ヶ峯カントリー倶楽部 / 306ストローク

4位 新発田城カントリー倶楽部 / 306ストローク



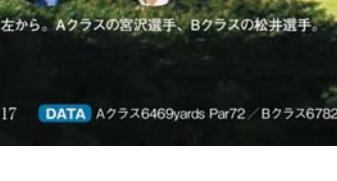
左から。Aクラスの宮沢選手、Bクラスの松井選手。



“山菜のてんぶらサービスコーナー”が大盛況。



越後GCの波田野支配人。



で結局、今シーズンのオープンは5月3日でした。

昨年12月4日のクローズから、約5か月ぶりに目にも鮮やかなグリーンが、完全に外れてしまった寒冬大雪の結果で、昨年よりも1割ほど多い最高積雪が4割まで行きました。

4月28日のキャラバン会議には、なんとしても視察プレーをしていただきたい思いで、懸命なコース除雪作業を行いました。

このような事前準備を経て、5月28日の競技当日を迎えることができ、朝から参加倶楽部の選手たちが来場されてきた状況を見て、感無量でした。

17倶楽部102名の参加選手で熱い戦いが展開されたわけですが、順調に走りました。しかしコース上には残雪が60センチあまり、吹きだまりでは2割あまり残り、視察プレーはまったく不可能でした。各倶楽部の参加者の皆様には誠に申し訳なく、お詫びの連続でした。

当倶楽部は昨年、参加15回目にして初めてとなる新潟予選を突破でき、今年も2年連続での突破を目標としています。



第1ブロック大会進出俱楽部

平成27年5月26日(火) 参加俱楽部数16 / 通過俱楽部数3



1位 妙高カントリークラブ／301ストローク



2位 下田城カントリー倶楽部／311ストローク



3位 石地シーサイドカントリークラブ／313ストローク

プロフェッショナル登場

妙高サンシャインGC
下村拓志グリーンキーパー

悪戦苦闘の1か月。4日前に終了して選手の皆様からお褒めの言葉

この競技の1か月前に、冬期クローズが開けて再オープンしました。積雪は4メートル、雪下ろし作業は3回、毎年の雪との戦いで芝への影響は想定済みですが、1ヶ月間にできることをすべて計画どおりにやっても、競技が近づけば内心はハラハラドキドキでした。

積雪に耐える芝のストレスは降雪量だけでなく、降り方によって「芝が落ち込む」のです。今年は最悪で降りはじめはサラサラ雪。その層の上に湿った雪が積もると、なかなか溶けないので。通常は除雪ブルーをフル稼働させますが、競技用の芝を傷めないよう手作業も多かったです。整備作業が終了したのは競技の4日前でした。

長・望月剛
(妙高サンシャインゴルフ倶楽部総務課)



リーグクラブ、下田城カントリークラブ、石地シーサイドカントリークラブの3チーム。とくに1位の妙高カントリークラブの301ストロークは、2位に10ストローク差というまさに圧勝劇。坪巻のベストスコアの「69」を叩き出した高村信吾選手は、優勝の立役者となりました。

当俱楽部は残念ながら6位と、目標としていた予選通過を果たせませんでした。その後、さから、涙を流す選手もいたそうです。けれど胸を背負って戦った貴方たちは我々の誇りであり、ヒーローなのですから。

夕陽に染まつたオレンジの涙が、近い将来歓喜の涙に変わるように、これからも声援を送り続けます。

(妙高サンシャインゴルフ倶楽部総務課
長・望月剛)



巨大観覧車からは360度のパノラマ



ベストスコア賞



左から、Aクラスの高村選手、
Bクラスの阿部選手。



左から、妙高サンシャインGCの
高橋理事長、齋藤大会会長。

新潟

第2会場予選

妙高サンシャインゴルフ倶楽部

1か月前に冬眠開けし競技は最良の整備で開幕

新潟県有数の豪雪地帯にありながら、長い冬の間、雪国の人々が待ち焦がれる「太陽」。名を持つ、私ども妙高サンシャインゴルフ倶楽部を舞台に開催された今回の新潟第2会場予選。西に雄大な妙高山、南に妙高サンシャインゴルフ倶楽部の大観覧車が見える、美しくもファンタジックな景観のなか、県内16俱楽部の精鋭が参加しての競技会となりました。

青空をバックに、誇らしげに掲げる各俱楽部の旗。青空と緑に映える、お揃いのカラフルなウエア。テントに陣を構えた応援団の、丹精込めてこしらえた色とりどりのお弁当。飛び交うギヤラリーの声援。俱楽部対抗ならではの光景のなか、当俱楽部の代表選手もまるで「太陽」。を彷彿とさせる目にも眩しいオレンジのウェアを身にまとい、大一番に臨みました。

この冬は豪雪に見舞われ、コースの除雪作業に悪戦苦闘しました。4月18日にどうにか今シーズンの営業を開始したものの、予選会まで1か月少々。限られた時間のなかでしたがコース管理課一同、精一杯頑張りました。

その努力の中斐あつて、当日は10・5月のグリーンをはじめ、この季節最良のコースを提供することができました。丹精込めて整備したコースを見事に攻略し、決勝進出を果たしたのが順に妙高カント

リーグクラブ、下田城カントリー

クラブ、石地シーサイドカントリー

クラブの3チーム。とくに

1位の妙高カントリークラブの

301ストロークは、2位に10

ストローク差というまさに圧勝

劇。坪巻のベストスコアの「69」

を叩き出した高村信吾選手は、

優勝の立役者となりました。

当俱楽部は残念ながら6位

と、目標としていた予選通過を

果たせませんでした。その後、

さから、涙を流す選手もいたそ

うです。けれど胸を背負って戦った貴

方たちは我々の誇りであり、ヒーロー

のですから。

夕陽に染まつたオレンジの涙が、近い

将来歓喜の涙に変わるよう、これから

も声援を送り続けます。

(妙高サンシャインゴルフ倶楽部総務課
長・望月剛)



開催倶楽部、妙高サンシャインGCの代表選手と関係者。

透明な陽光と
妙高山からの空気が
体に優しいご馳走です。

(竹内選手は、その後、理事長杯と倶楽部選手権をW制覇!)



竹内選手の13番ティーショット。

横田選手の9番ティーショット。

小山祐志選手。

小林実選手の1番ティーショット。

諏訪湖カントリークラブ

第2ブロック

標高1100mの高原で
開場52年の成長した姿を
霧ヶ峰が優しく見守る。

当俱楽部は今シーズン3月22日にブレオーブン。4月1日の本オープンに向け、万全の準備を整えたが、日々ありました。5月21日の開場52年。対抗長野会場予選競技の会場をお引き受けしましたので、競技当日へ照準を合わせ準備を進めました。

冬期間の降雪の影響と4月の天候により、コースコンディションは非常に悪く、職員全員がコース整備に力を注ぐ毎日でした。4月9日の競技担当委員様との事前打ち合せも降雪により延期となり、天候に左右されたシーズンのスタートとなりました。さらに競技前の深夜には激しい雷雨。明日のコンディションを考えると眠れないとありました。

明けていよいよ競技当日。雷雨の影響はほとんどなく安堵した朝を迎え、天候も良好。標高1100mの霧ヶ峰高原はいさきか肌寒さを感じたものの、出場俱楽部関係者や応援団の声援により、熱い一日となりました。

俱楽部の名譽と第2ブロック大会の出場権をかけた選手たちの表情からは、練習ラウンドとは違った緊張感と、全力を出し切る意気込みが伝わってきました。

然戦の結果は開催コースである当諏訪湖カントリークラブが、長野カントリークラブと同スコアでありながら、辛

第2ブロック大会進出俱楽部
平成27年5月21日(木) 参加俱楽部数25 / 通過俱楽部数5



1位 諏訪湖カントリークラブ / 464ストローク



2位 長野カントリークラブ / 464ストローク



3位 あづみ野カントリークラブ / 469ストローク



4位 塩嶺カントリークラブ / 474ストローク



5位 稲高カントリークラブ / 478ストローク



ピクニック気分のギャラリー。



スコアボードは芝の上の特等席。



1番ホールのティーショットを観るギャラリー。



ベストスコア賞



宮坂大会会長。



諏訪湖CCへビクトリーフラッグを授与。



上から。
Aクラスの
百瀬選手、
Bクラスの
小林選手。



特等席に並ぶ選手の「ブライド」

コースを開む山々の後線に表情を添える雪化粧、それに青々と輝く新緑とのコラボレーション。競技当日の5月21日(木)、この時期の見どころでもある昨冬の残雪に、新たな薄雪が加わった。当日未明に轟いた雷鳴と豪雨が、山頂付近では雪となったのだ。しかし夜明けには澄んだ青空が一面に広がり、遠方にはそびえる富士山までの視界をクリアにしていた。

「これより、関東倶楽部対抗山梨会場予選競技選手を……」高らかにコールされ、なだらかなコースへと向かう選手たち。その双肩の後ろには、各々が背負う倶楽部名が早朝のひんやりとした風になびく。16本の色とりどりのクラブフレッグが並ぶこのテラスは、コースを美しく眺められる特等席だ。南アルプスや八ヶ岳、広々とした雄大な景色と、丁寧に整備された芝と林地。そして英國の名門コースを彷彿させる眼鏡橋がバランスよく眺められるため、スケッチや撮影に訪れる方もいる。

選手は顔見知り同士が多く和やかな雰囲気で始まったが、念入りにスティングの確認をする姿から、じわりじわりと緊張感が伝わってくる。倶楽部の名を背負って試合に臨むのは、大きな重圧だろう。

アウト、インの最終ホールはまるでひとつなぎのように、クラブハウス正面に広がるのが北の杜カントリー倶楽部の特徴だ。なだらかな丘陵地帯に多くのギャラリーがつみかけ、自由に場所を確保し観戦していた。なかには自作し



会場予選
山梨

北の杜カントリー倶楽部

なだらかな丘陵に集う観衆。祭典気分の一日に

2
第2ラウ



開催倶楽部、北の杜CCの代表選手と関係者。

南アルプスや八ヶ岳を望む特等席。
眼前には英國庭園風のコース。

第2ブロック大会進出倶楽部

平成27年5月21日(木) 参加倶楽部数16 / 通過倶楽部数3



1位 昇仙峡カントリークラブ／474ストローク



2位 都ゴルフ倶楽部／477ストローク



3位 春日居ゴルフ倶楽部／484ストローク

ベストスコア賞 ホールインワン



左から、Aクラスの岩波選手、
Bクラスの古屋選手。

12番ホールで
達成の
星野選手。



北の杜CCの
清水總支配人。

志村大会会長。

DATA Aクラス6512yards Par72 / Bクラス6855yards Par72 ● ベストスコア賞Aクラス・岩波 篤(甲府国際) 69 / Bクラス・古屋 司(都) 74



1位 赤城国際カントリークラブ／460ストローク



2位 初穂カントリークラブ／462ストローク



3位 赤城ゴルフ倶楽部／467ストローク



左から。Aクラスの並木選手、
Bクラスの白石選手。



印象に残るクラブハウス。



汗ばむ謹意で木陰は特等席。



最後になりますが、由緒ある本競技にて大きなトラブルや負傷者が出てことなく無事終了できましたことを、KGKA関係者の皆様、会員様、従業員の皆様、フォアキャディー、案内係にて協力いただきました皆様、キヤディーの皆様、そして全裏方の皆様方に御礼申し上げます。（妙義カントリークラブ支配人代行・塩野雅弘）



妙義カントリークラブ

最高の技を発揮できるようコンディション調整

1
第1
会場予選

コースのどこからも
名峰・妙義山の男姿を一望。
山岳にあっても造形はフラット。

平成27年度関東県業部対抗群馬第1会場予選競技が開催された5月26日(火)は、予報どおりの快晴、好天に恵まれ最高気温30度の汗ばむ陽気な中、15個業部120名の選手によって熱戦が繰り広げられました。妙義カントリークラブは昭和61年8月にオープンし、開場29年になります。山岳にありながら比較的フラットな地形を生かし、ご自身のゴルフレベルを知るにはもってこいのコースではないかと思ております。

当日のグリーンコンディションは、ベントグリーン3、2ミリ、ダブルカット、ステインブローマー10.5ミクロンバクション16。コース整備においては各俱楽部の代表選手が、最高のパフォーマンスを発揮できるようコンディションを整えてまいりました。

トップスタートのティーショットより歓声やため息が聞こえるなか、選手の皆様は団体戦特有の緊張感のなかのプレーであったと思われます。午前8時にアウト、インに分かれでスタートし、最終組がホールアウトしたのが午後4時前で、まだ陽の高いうちに全チームがホールアウトできました。

順位は下馬評どおり、赤城国際カントリークラブが460ストロークで優勝し、以下、初穂カントリークラブ462ストローク、赤城ゴルフ倶楽部467ストロークの順で、この上位3倶楽部がブロック大会に駒を進めることがあります。3チームには敗れた12チームの分も、次のブロック大会でのご健闘をお祈りしております。



1位 レーサムゴルフ&スパリゾート／449ストローク



2位 伊香保ゴルフ倶楽部岡崎城コース／452ストローク



3位 クリスタルカントリークラブ／457ストローク

ベストスコア賞



左から。Aクラスの飯塚選手、
Bクラスの高瀬選手。



Green Keeper



黒沢豊
グリーンキーパー



大きなスコアボードの前でギャラリーの悲喜こもごも。



左から。
サンコー72CCの
三木キャプテン
寺本理事長、
萩原大会会長。



関係者をお見送りする選手皆様の姿には、安堵と来年に向けての決意が感じられました。そして、この歴史ある競技を終えた当俱楽部の全スタッフが、なにごとも代えがたい貴重な経験をさせていただきました。

最後になりましたが、本大会開催にあたり萩原大会会長、竹村競技担当委員長、競技委員の皆様そして参加俱

楽部選手、関係者の皆様のご協力おかげで無事に終了することができましたことを、心より御礼申し上げます。

(サンコー72カントリークラブ支配人、清水勝弘)

お見送りをするサンコー72CCの選手団。



個性的な戦略型ホール
東コースの赤城と榛名は
プロツアードお馴染み。



開催倶楽部、サンコー72CCの代表選手と関係者。

群馬

第2会場予選

サンコー72カントリークラブ

東コース
赤城・榛名コース

1
第1ブロック

関東倶楽部対抗群馬第2会場予選が5月26日(火)に、16倶楽部1128名の選手を迎えて開催されました。当倶楽部は本年9月に開場43周年を迎え、以前は男子プロツアーカップも開催しておりました。しかし今回は久方ぶりの公式競技、しかも歴史ある本競技を成功させよう、数か月におよびコース管理課をはじめ倶楽部全体が一丸となつて準備を進めてまいりました。

今年は5月に入り雨がほとんど降らず、フェエウェイ・ラフとともにあまり良いコンディションとは言えませんでした。しかし散水でしきのゲリーンはますますの状態で、選手の皆様を迎えることができました。

当日の朝は雲一つない快晴で、まさに五日月晴れ。気温は30度を超える予報でした。7時30分より1組目がスタートし順調に進みましたが、午後から風が強くなり、後半スタートの組は苦戦を強いられました。午後1時頃より、今競技用の特設ボートに入りござれる度に歓声と溜息が入り混じり、さらに陽だまりの暑さもあり、熱気はいが上にも高まりました。

競技も上位倶楽部の1位と2位は3ストローク差。ブロック大会出場がかかる3位から5位は1ストローク差の大混戦でした。そして、A・B両クラブともベストスコア賞を獲得したレ



大盛況の表彰式パーティー。



第4ブロック大会進出俱楽部
平成27年5月22日(金) 参加俱楽部数17 / 通過俱楽部数4



1位 宇都宮カントリークラブ / 460ストroke



2位 萩川城カントリークラブ / 460ストroke



3位 鷹ゴルフ俱楽部 / 461ストroke



4位 あさひヶ丘カントリークラブ / 465ストroke



左から。Aクラスの若林選手、遠山選手、
Bクラスの半田選手。



喜び爆発の胸上げの宇都宮CC。

古賀志山の麓に
森と池の
美しいコース。

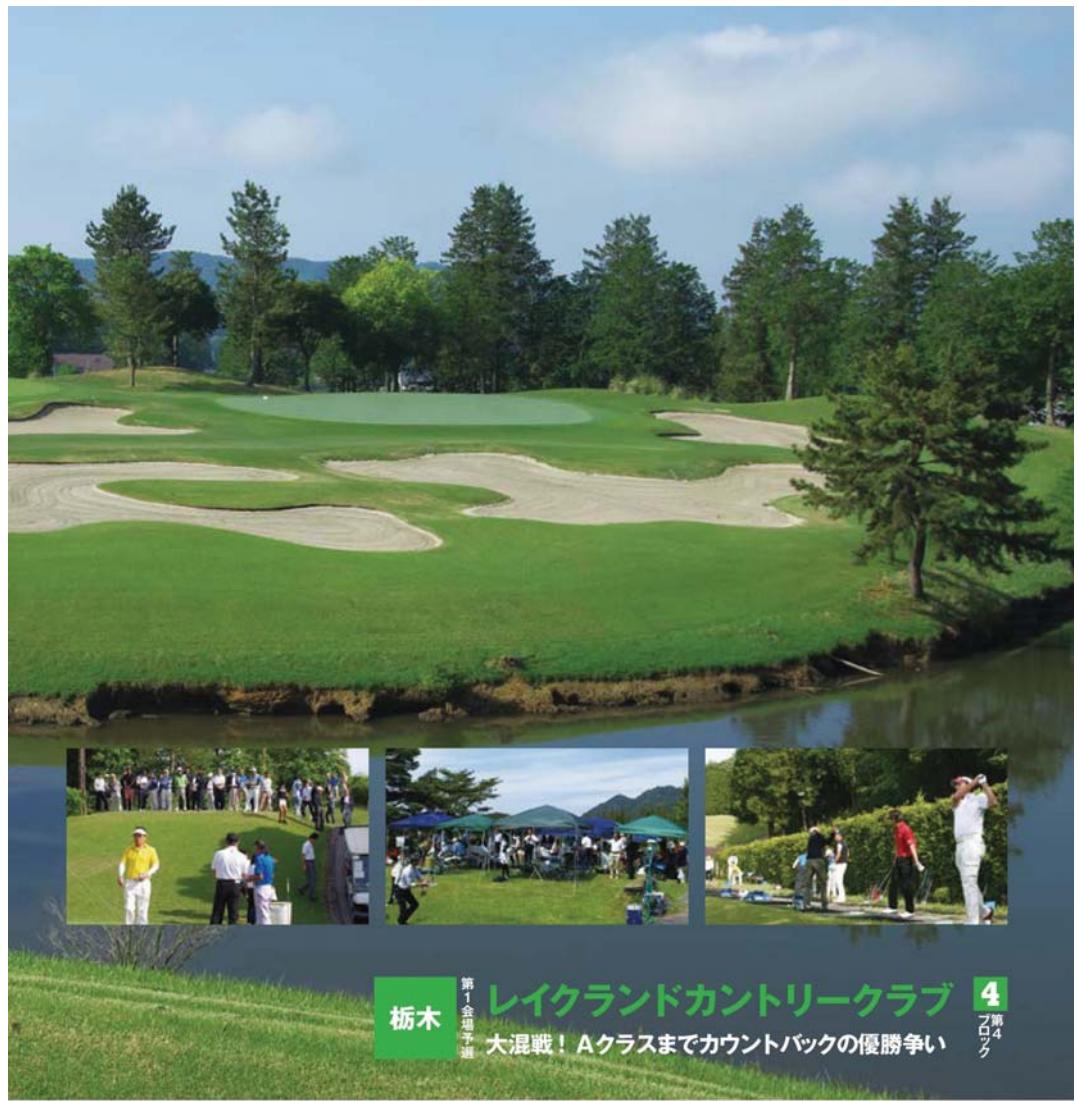


開催俱楽部、レイクランドCCの代表選手



左から。レイクランドCCの小森キャプテン、庄子支配人、
荒井大会会長。

感謝いたします。
改めまして、当俱楽部スタッフ一同、
この貴重な経験をもとに、さらなる上
質な俱楽部運営の向上に努め、これか
らも精進を重ねてまいりますので、よ
ろしくお願いいたします。(レイクラ
ンドカントリークラブ取締役支配人・庄
子隆志)



第1会場予選
栃木 第4ブロック
レイクランドカントリークラブ
大混戦! Aクラスまでカウントバックの優勝争い

平成27年5月22日(金)、当俱楽部にて関東俱楽部対抗栃木第1会場予選競技が、参加俱楽部数17チームにより8年ぶりに開催されました。競技当日は朝から晴天に恵まれ、日中は気温24度という絶好のゴルフ日和となりました。宇都宮の5月らしい風のなか、選手たちはギヤラリーカラの声援と盛大な拍手を受けつつ、競技会独自の緊張感でスタートを切り、白熱したプレーを繰り広げました。

競技結果としては3人目が終了した段階で、宇都宮カントリー倶楽部と鷹トリーカー倶楽部、そしてあさひヶ丘ゴルフ倶楽部、そしてあさひヶ丘ゴルフ倶楽部、そしてあさひヶ丘ゴルフ倶楽部の選手が、ともども76・73と好スコアでした。しかし最後の4人目が終了した時点で形勢が逆転。なんと萩川城カントリークラブのA・Bクラスの4人目トリーカー倶楽部が3つ巴の戦いを演じました。その結果、宇都宮CCと萩川城CCが460で同スコアとなり、A・Bクラスのスコアでも決着がつかず、A・Bクラスまで持ち越して順位が決定しました。

最後になりましたが、関根競技担当委員長はじめ競技委員の皆様、関東ゴルフ連盟事務局の皆様、そして参加俱楽部の皆様には、本競技の準備段階から多大なるご指導ご支援を賜りましたことを御礼申し上げるとともに、無事に競技を終了できましたことを深く



第5ブロック大会進出俱楽部
平成27年5月19日(火) 参加俱楽部数17 通過俱楽部数4

1位 塩原カントリークラブ／462ストローク



2位 ディアレイクカントリー倶楽部／472ストローク



3位 大日向カントリー倶楽部／473ストローク



4位 麻生ゴルフ倶楽部鹿沼コース／479ストローク



開催倶楽部、烏山城CCの代表選手と関係者。



関東倶楽部対抗栃木第2ブロック予選競技大会
平成27年5月19日 主催:関東ゴルフ連盟 出場:烏山城カントリークラブ



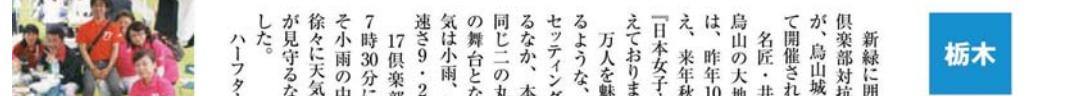
上から。
Aクラスの
渡辺選手、
Bクラスの
亀井選手。



上から。
藤崎大会会長、
烏山城CCの
井上副理事長、
谷津キャプテン。



来年秋開催の
日本女子オープンを
先取りフレー



新緑に開まれた5月19日(火)、関東俱楽部対抗栃木第2ブロック予選競技が、烏山城カントリークラブにおきまして開催されました。名匠・井上誠一氏が60万坪におよぶ烏山の大地に手がけた唯一の27ホールは、昨年10月で開場から満40周年を迎えた。来年秋には開場以来2度目となる

「日本女子オープンゴルフ選手権」を控えております。

万人を魅了する幾多の感動が生まれるよう、ハイクオリティなコースセッティング。その準備が進められていくなか、本競技も日本女子オープンと同じ二の丸・三の丸コースが熱き戦いの舞台となりました。スタート時の天気は小雨、気温18度、無風、グリーンの速さ9・27、硬さ24。

17俱楽部、136名の参加により7時30分にスタートです。朝のうちに小雨の中のスタートとなりましたが徐々に天気も回復し、多くのギャラリーが見守るなか、激戦が繰り広げられました。

ハーフターンの頃には雨も上がり、多数駆けつけた応援者と各俱楽部の憩いのひと時。つかの間の休息に後半の巻き返しを誓う選手、

表彰式。増田競技担当委員長から成績が発表されると一瞬、静寂の表彰式会場が歓声と拍手で包まれました。優勝は塩原カントリークラブ。2位のディアレイクカントリー倶楽部に10打差をついた圧勝でした。3位は大日向カントリー倶楽部。4位には麻生ゴルフ倶楽部鹿沼コースが入りました。予選を通して各俱楽部、各選手の皆様には、今後さらなる活躍を祈念申し上げます。

我が烏山城CCチームは7位となり、残念ながら予選通過はなりませんでしたが、個人では渡辺選手がベストスコア賞を獲得するなど、開催倶楽部の出場という緊張のなか、笑顔を忘れない全力プレーはとてもさわやかで印象的でした。

最後になりましたが、競技が無事終了できましたこと、本競技に関わられたすべての皆様に深く感謝し、御礼申し上げます。ありがとうございました。

(烏山城カントリークラブ副支配人・山口浩之)

栃木 第2会場予選

井上氏の難コースで会員選手がベストスコア賞 二の丸・コース

5
第5ブロック

第4ブロック大会進出倶楽部

平成27年5月21日(木)参加倶楽部数17/通過倶楽部数4



1位 芳賀カントリークラブ / 459ストローク



2位 阜月ゴルフ倶楽部佐野コース / 459ストローク



3位 矢板カントリークラブ / 462ストローク



4位 栃木ヶ丘ゴルフ倶楽部 / 465ストローク

となり、タイの決定、第14項により決定する大変拮抗した結果でした。当倶楽部の選手も、ブロック大会進出に向け奮闘いたしましたが、開催コースの重圧からか、力を発揮しきれず、6位という成績に終わってしまいました。しかし、貴重なゴルフ人生の思い出にしていただけたことを思います。

最後に、本競技開催にあたり、鈴木競技担当委員長をはじめ競技委員の皆様や各関係の皆様、そしてご参加いただいた各倶楽部の皆様のご支援、ご協力により、無事に競技を開催できましたことを、心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。鹿沼カントリー倶楽部支配人・長谷川利雄



ベストスコア賞



左から。Aクラスの片柳選手、熊耳選手、Bクラスの錦田選手、木下選手。



左から。鹿沼CCの廣田競技委員長、則定理事長、福島大会会長。

Green Keeper



豊田一弘 グリーンキーパー。

鹿沼カントリー倶楽部は約200万平方メートルという広大な敷地に、栃木県ではもっとも多い45ホールを展開し、本年10月には開場51周年を迎えることとなっています。

歴史ある関東倶楽部対抗栃木第3会場予選に選んでいたいたことは大変光榮であり、昭和58年以来2回目となる開催が決定してからの従業員たちは、各代表選手が最高のパフォーマンスを發揮できるよう、一丸となり準備を進めてしまいました。

競技開催に向けた準備は着々と進んでおりましたが、4月には珍しく降雪がありました。またその後、鹿沼地区には雨らしい雨が降らず、コース内はかなり乾燥した状態が続いておりました。コース課のスタッフたちはグリーンキーパーを中心いて、毎日夜遅くまで散水作業を行なうなど、自然とした競技を繰り広げていたくなめ、ベストなコースを提供するため頑張ってまいりました。

準備も整い、競技当日を迎えようとした前日の夜半から雷雨が発生。大会開催が心配されましたが朝方までは止み、その後は青空が広がる最高のゴルフ日和となりました。バンカー内の水抜き作業等はあつたものの、選手の皆様には定刻どおりスタートしていただくことができました。

競技は1位に2チームが同ストローク

となり、タイの決定、第14項により決定する大変拮抗した結果でした。当倶楽部の選手も、ブロック大会進出に向け奮闘いたしましたが、開催が心配されましたが朝方までは止み、その後は青空が広がる最高のゴルフ日和となりました。バンカー内の水抜き作業等はあつたものの、選手の皆様には定刻どおりスタートしていただくことができました。

競技は1位に2チームが同ストローク



開催倶楽部、鹿沼CCの代表選手と関係者。

昭和と平成に
佐藤昌と川田太三の
名手2人がコース改造。



第4ブロック大会進出倶楽部
平成27年5月18日(月)参加倶楽部数26 通過倶楽部数5



1位 土浦カントリー倶楽部／310ストローク



2位 玉造ゴルフ倶楽部／312ストローク



3位 ノースショアカントリークラブ／312ストローク



4位 扶桑カントリー倶楽部／313ストローク



5位 ニッソーカントリークラブ／313ストローク



がら予選を通過することはできません
でしたが、ブロック大会進出を決めた
5倶楽部様には決勝大会進出、さらに
優勝を目指して頑張っていただきたい
と思います。

最後になりましたが、開催にあたり
ご協力をいただきました関係者の皆
様、参加倶楽部の皆様に厚く御礼申し
上げます。（筑波カントリークラブ・
ロントマネージャー・森田邦夫）

がら予選を通過することはできません
でしたが、ブロック大会進出を決めた
5倶楽部様には決勝大会進出、さらに
優勝を目指して頑張っていただきたい
と思います。

最後になりましたが、開催にあたり
ご協力をいただきました関係者の皆
様、参加倶楽部の皆様に厚く御礼申し
上げます。（筑波カントリークラブ・
ロントマネージャー・森田邦夫）



茨城 第1会場予選

今年9月に開場56周年を迎える当倶楽部で、今年の関東倶楽部対抗茨城第1会場予選が、26倶楽部の参加で開催されました。開催が、特にコース整備を中心に、スタッフ一同入念に準備を進めてまいりました。当日は朝から快晴、ようにより、特にコース整備をして、特にコース整備を中心、スタッフ一同入念に準備を進めてまいりました。当日は朝から快晴、気温23度、グリーンの速さ11.3フィート、硬さ23、刈り高3.2フィート、いうまでもこのコースコンディションのなが、がスタートして行きました。午前7時30分に第1組がスタートして行きました。たくさんのギカラリ♪が見守るなかでのティーショット、各選手の緊張感が伝わってきました。途中、応援団の拍手や歓声を浴びながら、4時37分にすべての組がホールアウトし、無事競技を終了することができました。

2年前に当倶楽部で開催されたブロック大会は、60台のスコアを出した選手が数名おり、半数近くの選手が70台というハイレベルな戦いでした。今回は速さ11.3フィートの高速グリーンに苦労した選手が多かったです。

我が筑波カントリークラブは残念な

4
第4
ブロック

筑波カントリークラブ 開場56周年を迎える林間コースでの華麗な戦い

第5ブロック大会進出俱楽部

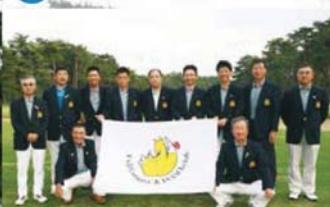
平成27年5月25日(月) 参加俱楽部数25 通過俱楽部数5



1位 大利根カントリークラブ / 301ストローク



左から。大利根CC、富士CC、水戸・G・C、霞台CC、高萩CCの代表選手。



2位 富士カントリー笠間俱楽部 / 302ストローク



3位 水戸・ゴルフ・クラブ / 303ストローク



4位 霞台カントリークラブ / 304ストローク



ベストスコア賞

左から。Aクラスの沼田選手、
Bクラスの木名瀬選手、軍司選手。



5位 高萩カントリークラブ / 306ストローク



左から。
塙原大会会長、
茨城GCの
岡本理事、
稻富理事、
食持統支配人。



Aクラスのベストスコア賞
の沼田選手。

競技用も通常営業も
コース設定に
大きな変わりはない。



茨城ゴルフ俱楽部 西コース

まとまった雨の予報が朝から晴れ。そして強い風

5
第5ブロック

平成14年度関東県東部対抗決勝戦以来、13年ぶりの県東部対抗の会場となりました。多くの各俱楽部代表の方々が来場され、予選通過への意気込みを感じました。競技前日は応援団席設置、クラブハウス内整理等の会場作りをスタッフ総出でおこないました。競技当日、天気予報ではまとまった雨の予報でしたが朝から晴れ。コースセッティングはグリーンの刈り高3・2mm、ティンバーゲート10mm、コンパクション22・5と良いコンディションでの開催になりました。

朝は穏やかな天候でしたが、スタート時間になると強めの風が吹き、日が昇るにつれ夏のような気温となり、プレー中には厳しい天候になりました。

午前7時30分、予選通過俱楽部の5枠を争い、第1組目が応援団の拍手を受けながらスタートして行きました。ハーフ終了後、応援団席に戻った選手はスコアの報告、仲間のスコアの確認、後半のコース戦略と大いに盛り上がりいました。プレー中のコースではバ

ドに各選手のスコアが記入される都度、歓声と消息が入りまじり俱楽部対抗の熱気はさらりと上がりはじめました。最後のプレーヤーの成績がズラズラドに記入され、結果は1ストロークを争う展開となりました。

表彰式において予選通過を決めた俱楽部が発表表されると、各俱楽部からは歓声があがり、改めて挑戦を勝ち抜いた喜びをわかつていました。

最後になりましたが、本競技開催にあたりご尽力いただいた、すべての皆さんに厚く御礼申し上げます。(茨城ゴルフ俱楽部キヤダイマスター・高橋隆)

開催俱楽部、茨城GCの代表選手と関係者。



第3ブロック大会進出俱楽部

平成27年5月27日(水) 参加俱楽部数21 / 通過俱楽部数4

1位 川越グリーンクロス／454ストローク



開催俱楽部、鴻巣CCの代表選手と関係者。



2位 熊谷ゴルフクラブ／460ストローク



水田地帯らしく
平坦な地形の
多彩な池を攻略。



3位 さいたまゴルフクラブ／462ストローク



4位 浦和ゴルフ俱楽部／464ストローク

我々の使命であると再認識した次第です。
そうしたなか、当日は無事に競技を終えることができ、競技担当委員長はじめKGA競技委員の皆様、そしてサボトしていた間際各位に対し、俱楽部を代表し心より御礼申し上げます。
(鴻巣カントリークラブ取締役支配人・木澤豪)



埼玉
第1会場予選

鴻巣カントリークラブ

本社創立50周年記念事業として全スタッフ一丸で

3
第3ブロック

3
第3ブロック

関東俱楽部対抗埼玉第1会場予選は、当俱楽部を含め県内21俱楽部、168名の選手をお招きし、晴天のもと開催されました。

今年で弊社「関文グループ」は、創立50周年を迎える記念すべき年に当たり、そのような年に本競技を開催することは、大変光栄なことです。

常日頃からコース管理部門のみならず、全スタッフがいつでも競技をお引き受けできるコース造りを心掛けております。俱楽部対抗は実に12年ぶりの開催となります。弊社の日頃をご披露するチャンスとスタッフが心ひとつになり、参加選手にご満足いただけるよう準備して当日を迎えました。また隣接する鴻巣ジャンボゴルフセンターは当日クローズし、ギャラリーの皆様がくつろげるスペースを確保し、よりいっそう応援の熱も上がったのではないかと思ひます。

心配された天候は晴れ。早朝の競技員による最終コースチェックを経て、スタートティングホールでのコールにより競技がスタート。特に俱楽部を代表するという普段とは少し違った独特な緊張感のなか、好ゲームが展開されました。

当日のグリーンコンディションは、ステインプレーマー1での計測は平均11.7m、それに加え5月に入つてからの雨不足もあり、特にグリーン周辺が硬くなつたことが、アンダーパーかお一人という結果となった要因のひとつではないかと思っております。このようななか、見事に川越グリーンクロスが優勝。そして代表選手ならびに応援に行く方々に出場するプレーでの心構えについてのヒント。

まずは競技の前にマナー、エチケットについて。ジュニアゴルファーをはじめとするゴルファーの見本となるよう、ゴルフ場での立ち居振る舞いも含めて気配らなければならない。さらにはその応援にゴルフ場に足を運ぶ者もドレスコードにも気を遣うべきとのお話をあり、キャブテン会議の内容をいかにして代表選手ならびに応援に行く方々に、周知徹底することも心構えについてのヒント。



第3ブロック大会進出俱乐部
平成27年5月25日(月)参加俱乐部数22 通過俱乐部数5

1位 岡部チサンカントリークラブ / 447ストローク



2位 寄居カントリークラブ / 465ストローク



3位 高根カントリー俱乐部 / 467ストローク



4位 廣済堂埼玉ゴルフ俱乐部 / 468ストローク



5位 川越カントリークラブ / 470ストローク



川越CCのボランティアの皆様。



あわただしかった長い1日に終わりが
告げられました。

優勝は断トツで毎年、素晴らしい成
績を残す岡部チサンカントリークラブ
でしたが、2位から5位までは1打差、
2打差の僅差の戦いで、当俱楽部も5
位に入賞することができ、ブロック大会
へ駒を進めることができました。

最後になりますが、今競技
を開催するにあたりスタッフ
はもちろん、会員の皆様や関
係者、ゴルフ連盟の皆様のお力添
えがあり、無事競技を終了す
ることができましたこと、厚
く御礼申し上げます。(川越カント
リークラブ支配人・間瀬浩九)

ベストスコア賞



左から。Aクラスの関橋選手、
Bクラスの吉田選手。



左から。
池谷大会会長、
川越CCの
植野理事長、
小川競技委員長。



中コースと西コースでは
球趣が異なる楽しみ。
池の攻略は頭脳ゲーム。



埼玉 スタッフ全員の努力に天が味方して当日は快晴 第2会場予選

3 第3
ブロック

当俱楽部は昭和38年に開場し、今年
で52年目を迎える27ホールのコース
です。当日の競技は中村寅吉氏設計の
中コースをOUTコースとして、西コース
をINコースとして開催いたしました。

やはりこういう競技日で、「一番気にな
るのは天候です。1か月前から長期
予報を見たり、3日前くらいになると
変わらないのがわかつているのに2時
間ごとに予報をチエックしなど、日々を
追うごとに気持ちが高ぶっていきました。

コースコンディションも最高な状態ま
でグリーンキーパーをはじめとするコト
ス管理スタッフが仕上げ、当日を迎えた
ことができました。願いが届いたのか
か当日は快晴に恵まれ、定期の7時30
分にスタートの火ぶたが切って落とさ
れました。

時間を探うことにギャラリーも増え、
歓声が上がるようになり大会らしく盛
り上がりを見せて行きました。お昼近く
になるとコース同様ハウス内レスト
ランボルに設けたギヤラリープラザも
盛り上がりを見せ、浴房が効くなかで
楽しんでいただきました。

午後、スコアボードに選手名が掲示
され、スコアの記入がはじまるときび
の笑顔と悔しがる選手と、激励する仲
間たちが集まります。最終組の記入が
終わると歓声とため息が入り交じり、



第4ブロック大会進出俱楽部

平成27年5月18日(月) 参加俱楽部数22 通過俱楽部数5



1位 成田東カントリークラブ / 456ストローク



2位 成田ヒルズカントリークラブ / 458ストローク



3位 浜野ゴルフクラブ / 469ストローク



4位 カレドニアン・ゴルフクラブ / 469ストローク



5位 京カントリークラブ / 469ストローク



麻倉GC 萬 美幸グリーンキーパー

開場したのは7年前ですが、我が子の誕生から成長を見守るよう、造成中から勤務しています。既存の広葉樹を多く残していますので、新設らしからぬ落ち着きが感じられるでしょう。グリーンの管理を含め「コースを美しく保つ」これが私のテーマです。

プロフェッショナル登場



開催俱楽部、麻倉GCの代表選手と関係者。

上から、相馬大会長、
麻倉GCの熊沢理事。
主任・高柳旭)

拍手・喝采が沸き起こり、
団体競技の難しさ、一打
の大切さを改めて感じま
した。

最後になりましたが、
本競技の準備から秋原競
技担当委員長はじめ
競技委員、運営委員の皆
様のご指導ならびに各俱
楽部選手および関係者の
方々のご協力により、無
事競技を終了できました
ことを上げて、心より御
礼申し上げます。



千葉 麻倉ゴルフ俱楽部

激戦区は3位から5位が同ストロークの大混戦

4
第4ブロック

関東ゴルフ部对抗千葉第1会場予選競
技が5月18日(月)、当俱楽部におきま
して県内22俱楽部、176名が参加し
て開催されました。

開場7年目の当俱楽部では初の俱楽
部对抗競技開催となるので、競技に向
けてKGA競技委員のご指導のもと、
スタッフ一丸となって運営の準備をして
まいりました。それ以上に各俱楽部の
選手・サポートの皆様の熱心さが大変
印象的で、当俱楽部でも大いに参考に
なりました。

コース整備においては、この日に照準
を合わせ、選手の皆様にご満足いただ
けるよう、万全の準備を進めてまいり
ました。当日のグリーン状態につきま
しては刈り高3・6ミリ、グリーンスピ
ードは11・6ミリの設定により、最高のコ
スコンディションにて選手の皆様を迎
えることができました。

当日は晴天に恵まれ選手はギヤラ
リの声援を受け、独特の緊張感のな
かでスタート。気温も27度と夏日にな
り、午後からは風が強まりましたが、お
むね良好なコンディションのなか、熱
闘を繰り広げました。

競技結果は成田東カントリークラブ
が2打差をつけて優勝し、ブロック大
会に進出。2位には成田ヒルズカント
リークラブ、続いて3位に浜野ゴルフク
ラブ、4位にカレドニアン・ゴルフク
ラブ、5位に京カントリークラブで、ブ
ロック大会進出を決めました。

成績発表にて萩原競技担当委員長か
ら、3位から5位が同ストロークであつ
たことが告げられると会場内に大きな

ゴルフ倶楽部成田ハイツリー

全員参加、地元住民の協力も得て初開催は大成功

5 第5
ブロック

当倶楽部は倶楽部対抗競技は初めての経験であり、競技を引き受けるにあたり、会場設営や競技運営に気がかりな点がいくつありました。しかし、地元の方々のご理解を得て応援者用の駐車場が確保でき、多古町ゴルフ部や当倶楽部会員の協力を得ることができ、非常に助かりました。

競技当日は朝から青空が広がる絶好のコンディションとなり、そんななか、朝7時30分にトップの組がスタートして行きました。各組の選手がゴールされるたびに大きな拍手や声援で、倶楽部対抗ならではの光景が広がります。最終組がスタートする10時半頃には、駐車場に設営した各倶楽部のテントが、ハーフ休憩をする選手と応援の方々で賑わっていました。

最終組がホールアウトしたのは17時30分。その頃は成績掲示版にスコアが記入される度に、大勢の方が一喜一憂されていました。心配していたトラブルもなく無事競技を終了することができ、我々スタッフも良い経験積むことができました。

ご参加いただいた各倶楽部の皆様など、多くの方々に感謝いたします。

(ゴルフ倶楽部成田ハイツリー 総支配人・水井秀和)

丘陵の自然林に
大きな池が点在する
美しい戦略コース。



第5ブロック大会進出倶楽部
平成27年5月18日(月) 参加倶楽部数21 / 通過倶楽部数4

1位 千葉国際カントリークラブ / 473ストローク



2位 ゴルフ倶楽部成田ハイツリー / 473ストローク



3位 姉ヶ崎カントリー倶楽部 / 476ストローク



4位 佐原カントリークラブ / 484ストローク



GC成田ハイツリー
島田嘉隆グリーンキーパー



昭和45年からコース管理に携わり、当倶楽部では14年目となります。永年の経験から、施肥は少量を回数多く与えます。サブのコラーラ芝も健在で、酷暑の夏には(ピンチヒッターとして)心強く感じます。間東倶楽部対抗は春の競技で、雨は少なかったものの整備は順調でした。コース管理は生き物相手ですから「ムリをさせない」ように心がけています。



Aクラス 6401yards Par72 / Bクラス 6891yards Par72 ● ベストスコア賞 Aクラス・工藤洋史(木更津)、吉田 潔(本千葉) 73 /

ホールインワン



高田(エンゼル)
選手。



GC成田ハイツリー
の藤田理事長。

プロフェッショナル登場

第5ブロック大会進出倶楽部

平成27年5月26日(火) 参加倶楽部数21 通過倶楽部数4



1位 千葉カントリークラブ 462ストローク



2位 加茂ゴルフ倶楽部 474ストローク



3位 千葉夷隅ゴルフクラブ 483ストローク



4位 鎌山カントリークラブ 485ストローク



DATA Aクラス6453yards Par72 Bクラス6872yards Par72 ベストスコア賞Aクラス・豊田弘司(万木城)・石井 韶(千葉桜の里)76 Bクラス・鈴浦 圭(千葉)70

倶楽部対抗競技の雰囲気は獨特なものがあり、手に汗握るゲーム展開が繰り広げられていました。当時は大きなトラブルもなく、無事に競技を終了することができました。これも会員・社員が一致団結して準備を行い、当日も当倶楽部分科委員の皆様がボランティアで駐車場係・スコアボード記入係・フォアキャディーなどとして、ご支援いただいた成果の賜物として感謝しております。

最後に、見島競技担当委員長はじめKGA委員の皆様には、下見から始まり競技当日の運営まで、私たちのコスケ側に一段のご配慮をいただいての開催となりました。お陰様ですべてがスムーズに流れることができ、競技を成功させることができましたこと、心より感謝申し上げます。(千葉夷隅ゴルフクラブ副支配人・和田隆之)



平岩大会会長



Green Keeper
和田隆之

スコアボードの前はラッシュ並み。

スコアを提出し終えて競技は終了。

東コース9番ホール。



千葉県房総半島の中央部に位置している当倶楽部は、関東ではもっとも運い紅葉が見られることで有名な養老渓谷に隣接しているゴルフ場として、安田幸吉氏・川村四郎氏の設計により昭和54年8月にオープンし、昨年で35周年を迎えました。当倶楽部で関東倶楽部対抗予選競技が開催されるのは男子3回、女子1回、合計で4回目となります。前回は女子の開催でしたが開催間隔が短く、あつという間に一大イベントがやつてきました。コースの整備・運営については開催決定からこの日に照準を合わせ、参加する選手に満足いただけるよう、社員一丸となり準備を進めてまいりました。

当日のグリーンの状態につきましては、刈り高3・2⁴、グリーンスピードは3・4⁵の設定により、最高のコースコンディションに맞ていけたのではないかと思つております。天候も幸いにも晴天に恵まれ、無風そして最高気温が30度となるなか、7時30分の定刻に競技委員の呼び出しの声で、選手たちはスタートして行きました。この瞬間は選手だけでなく、キャディーも応援ギャラリーも緊張が最高潮に高まり、選手のショットを見守ります。各倶楽部の代表として競い合う倶



千葉夷隅ゴルフクラブ 東・南コース
会員と社員が一致団結。当日は分科委員が大活躍

5
第5
ブロック



豊かな自然に
素直なレイアウト。
ハワイゴルフを満喫!



第3ブロック大会進出俱乐部

平成27年5月18日(月) 参加俱乐部数13 / 通過俱乐部数3



1位 東京五市カントリー倶楽部／460ストローク



2位 多摩カントリークラブ／460ストローク



3位 青梅ゴルフ倶楽部／472ストローク

プロフェッショナル登場

武藏GC・見島洋彦所長

常に自然と天候との勝敗

武藏野GCでの俱乐部対抗予選は12年ぶりである。前回は私が武藏野GCに赴任して2ヶ月弱で、本グリーンの高麗グリーンを使用した覚えがあるが、今回はベントグリーンの使用となった。武藏野GCでのコースセッティングはいつもながら、どうシミュレーションして仕上げるか苦慮する。この理由は、幅がなく距離もない。そして傾斜のきつい小さな土構造の受けグリーンだからである。また今回は春の競技なので、萌芽を気にしながら昨年の秋から長期間に渡り維持管理しなければならなかった。今競技のセッティングだが、この5月は観測史上もっとも暑い5月でドライ状態がかなり続いた。ほとんど散水中心の維持管理になってしまった。夏の暑さと違って、いくら水を撒いても乾いていく状態はあまり経験したことがなく、結果、グリーンは競技前まで15分散水を実施し、コンパクションはあげられなかった。また、雑排水の混ざっている池の水を長期間使用したので、窒素コントロールも不可能となり、11フィートを目指していたが、やっと10フィートに達した状態だった。また、ラフもドライ状態が続いたので刈り込みはせず、この季節特有の芝生の穂を生かしたラフにセットした。フェアウェイはなるべくランが出ないように通常から11.5ミリの逆目ワンウェイ刈りを行っている。結果的には当日は風が吹いてきたせいか、トップが72というスコアで収まったので、ほど良いセッティングだったのではないかと自負している。



ベストスコア賞



左から。Aクラスの指田選手、山中選手、Bクラスの和田選手。



武藏野GCの小宮山理事長。
佐藤大会長。



開催俱乐部、武藏野GCの代表選手と関係者。

東京
会場予選

武藏野ゴルフクラブ

国体開催から2年目、俱乐部対抗競技を迎えて



平成27年5月18日(月)、心配された天候も無事、澄んだ青空と爽やかな風のなか、関東俱乐部対抗東京会場予選競技が、当武藏野ゴルフクラブにて開催されました。当俱乐部は昭和35年11月に開場した50年以上の歴史のある丘陵コース。平成25年10月には「スポーツ祭東京2013」第68回国民体育大会ゴルフ競技会・少年男子」の会場となつており、今競技はそれ以来の大きな公式競技となりました。

アウトコースはホールごとに大したアップダウンもなく、第1打の落下地点からのセカンドショットは距離感が測りやすいですが、インコースは一部ティーショットの落としどころに起伏があり、パウンドが左右されるといった戦略を要求されるコースです。特にスタートホールの1番と10番は左右がOBと、とても緊張を強いるられるスタートホールとなつています。

コースセッティングもフェアウェイとラフでは、しっかりと差が出来るように工夫され、良いショットにはそれなりのペナルティーが与えられるように仕上りました。

午前7時30分、アウトコースAクラス、インコースBクラスともに、競技委員の選手紹介のあと競技が開始されました。予想どおりアウト、インともに第1打は大変なブレッシャーとなり、無事フェアウェイにボールを選び終えた選手は安堵の表情(笑顔)、暫定球を打たなければならぬ選手には、ささやかなブレッシャーが襲いかかります。順調にスタートホールを終えた選手も、その後に轟く深く櫻の付いたラフに手こすり、普段とは違った緊張感

トランプスタートの選手たちが最終ホールのトランプスタートへと上がつきました。皆、真剣な眼差しでハットを脱ぎると、表情は一転して安堵の笑顔がこぼれます。思いどおりにプレーできなかつた選手も、緊張感から解放された気持ちのほうが優先するのでしょうか。悔しさを口にしながらも、笑顔のが印象に残ります。

次々と選手が上がりつくると、皆の注目はスコアボードへと移り、喜びのどよめき、嘆きの溜息が聞こえています。結果が優勝・準優勝が同スコアとなりました。が、タイの決定規定により東京五日市カントリー俱乐部の優勝となり、準優勝の多摩カントリークラブ、3位の青梅ゴルフ

俱乐部が6月23日に行われる第3ブロック大会(埼玉・東京・神奈川)への進出が決まりました。

当俱乐部は昨年4位、今年は地元開催ということもあり、ブロック大会への進出を目指して練習に励みましたが、残念ながら位という結果となりました。

最後になりましたが、竹村競技担当委員長ならびに競技委員の皆様、開催にあたりご尽力いたきました皆様方のおかげで、無事に競技を終了することができました。心より御礼申し上げます。(武藏野ゴルフクラブ支配人・前田光二)

第3ブロック大会進出倶楽部

平成27年5月18日(月) 参加倶楽部数27 / 通過倶楽部数6



1位 東名厚木カントリー倶楽部 / 489ストローク



2位 横浜カントリークラブ / 495ストローク



3位 津久井湖ゴルフ倶楽部 / 497ストローク



4位 中津川カントリークラブ / 497ストローク



左から、湘南CCの杉山總支配人、藤島競技委員長、角山常務。



5位 伊勢原カントリークラブ / 499ストローク 優勝倶楽部へ賞品を授与する廣幅大会会長。



6位 泰野カントリークラブ / 510ストローク



ベストスコア賞



左から、Aクラスの山本選手、
Bクラスの鈴木選手。

スピードは11・48.17と、前半を終えて上がってきた各倶楽部の選手からは「グリーンに上がつても、気の抜けないプレーが要求されるので疲れた」との声があがっていました。

我が湘南CCは平均年齢が毎回参加チーム最高齢ということもあり、従来下位に低迷しておりましたが、今回は地元開催という地の利もあり15位と大躍進を果たしました。

選手の皆様、大変お疲れさまでした。今回は初の倶楽部対抗開催コースと、ことで運営面で不安がありました。鈴木競技担当委員長と、心より御礼申し上げます。

(湘南カントリークラブ 総支配人・杉山恵二)

プロフェッショナル登場

湘南CCコース

管理責任者
重田浩司副支配人

湘南のスタンダードを
皆様に

当倶楽部にとって初開催ということで、出場選手の皆様に湘南CCのコースを堪能いただくため、コース管理部が一丸となって、コースコンディション作りに励んでまいりました。なかでもコース攻略上のキーとなる、また井上誠一氏設計の特徴的存在である砲台グリーンに注力しました。春先からグリーンスピード・コンパクションとともに良好なコンディションを維持しておりましたが、競技が近づくにつれ芝が言うことを聞かずにスピードが落ち出しました。コース管理部を通じて適切な判断の基、整備を行い、そして最後には気持ちを加え、最終的には湘南CCのスタンダードである、ステインプーメーターで11フィート前後のスピードで均一な転がりの、グリーンコンディションを持っていくことができました。5年前に関東ゴルフ連盟に加盟し、いくつかの公式競技を行わせていただいておりますが、今競技もコース管理部にとって大きな財産となりました。ありがとうございました。

神奈川
会場予選

湘南カントリークラブ

オール神奈川27倶楽部の162選手が参加の祭典



開催倶楽部、湘南CCの代表選手。

井上誠一氏設計の大地に
湘南の陽光と風。



プレー中の湘南CC代表選手。



平成27年5月18日(月)、関東倶楽部対抗神奈川会場予選競技が、当倶楽部で参加27倶楽部、162名の選手をお迎えに行われました。

湘南カントリークラブは昭和36年に開場、今年で丸54年を迎えた三菱グループ各社が株主のゴルフ場です。J.R.社堂駅から10分ほどでコースに到着でき、交通の便が良いところに距離も693.1mの、井上誠一氏設計のチャンピオンコースがあるなど、初めてこ来場された方は皆様一同に驚かれます。

湘南CCの倶楽部対抗参加回数は今回で5回目と、まだまだギターの城を脱していません。今回は地元開催倶楽部として、湘南CCらしさである井上誠一設計コースレイアウトの妙・砲台グリーン・高速グリーンを参加倶楽部の選手の方々に味わっていただこうと、従業員総出で前日は遅くまで、それぞれの持ち場での準備に精一杯頑張ってくれました。

数日前の天気予報では傘マークがついていましたが、競技当日は快晴で汗ばむほどの好天となりました。各倶楽部の応援団も続々と集まり、各テンントでのおもてなしの準備とスタートする選手の見送り。応援テント、1番、10番のティーは大混雑。

最初の組は7時30分からのスタート。2時間後、9時半から続々とフロント9を終えた選手があがつてきて、それぞれの倶楽部の応援テントでサンドイッチ、お稲荷さん・おにぎりなどで腹ごしらえをして、バック9に移つて行きました。

自慢のグリーンはコンパクション22、

第2ブロック大会進出俱楽部

平成27年5月21日(木) 参加俱楽部数26 / 通過俱楽部数5



1位 伊豆にらやまカントリークラブ / 311ストローク



2位 リバーフォートカントリークラブ / 313ストローク



3位 葛城ゴルフ倶楽部 / 314ストローク



4位 大熱海国際ゴルフクラブ / 315ストローク



5位 沼津ゴルフクラブ / 316ストローク

電卓で計算しながらスコアを見守っている姿が見受けられました。

17時前には競技終了し、結果を見れば1位から6位まで5打差という大接戦のなか、伊豆にらやまCCが見事優勝、惜しくも2ストローク差で2位のリバーフォートCC、3位は葛城GC、4位は大熱海国際GC。そしてブロック大会進出枠の残り1枠に、当俱楽部と豊岡国際GCがタイとなりました。競技規定により当沼津GCが最後の1枠に入り、5俱楽部が決勝進出となりました。

最後になりますが、福田大会会長、熊澤競技担当委員長、高田競技担当副委員長、5名の競技委員の皆様、関東ゴルフ連盟の皆様、当俱楽部での開催にあたり尽力いたいた皆様方のおかげで、大きなトラブルもなく、無事に競技を終了できることを心から御礼申し上げます。（沼津ゴルフクラブ副支配人・山本康夫）



植松選手のショット。



左から、Aクラスの佐々木選手、Bクラスの成田、植松(ショット写真)、小島の各選手。



左から、沼津GCの清谷理事長兼競技委員長、渡邊理事長、福田大会会長。



左から、沼津GCの芦川運営委員、植松競技副委員長、金子競技委員。

DATA Aクラス6250yards Par72 · Bクラス6646yards Par72

沼津ゴルフクラブは昭和39年9月5日に開場し、昨年50周年を迎えました。静岡県では川奈ホテルゴルフコースが昭和3年(大島コース)開場でもっとも古く、沼津GCは県内で18番目の開場となります。昭和39年といえば10月1日に東海道新幹線が開通し、10月10日から東京オリンピックが開催された年です。沼津GCの歴史は半世紀に及んでいます。

今回で3回目の開催となる当俱楽部ですが、7年ぶりの開催とあって手探りでの準備となり、至らぬ点が多くありましたことと存じますが、関係者一丸となり、成し遂げることができました。

また今年度の静岡会場は昨年より1チーム増え、記憶の中では過去最多の26俱楽部が参加しての競技となりました。静岡県全体での参加数もシード3俱楽部を含めると29俱楽部となり、参加チームが年々増えて今まで以上に盛り上がりを見せております。

当日は明け方に30分ほどの雷雨に見舞われましたが、コースにはまったく影響もなく、朝日がまぶしいくらいの快晴となりました。最高のコースコンディションのなか、予定どおり7時30分に各コースより156名の選手が、大声援のなかでスタートいたしました。

当日のグリーンコンディションはベントグリーン3:5:5、ダブルカット、ステンプメーター11.2、コンパクション10。マスター室横に設置したスコアボードには、激戦を見守る選手と応援団。ブロック大会進出5チームに入れるかどうかをスコアに記入されるたびに、

静岡
会場
予選

沼津ゴルフクラブ 愛鷹・伊豆コース
快晴の沼津に26俱楽部が集結し大混戦の結果は

2
第2
ブロック

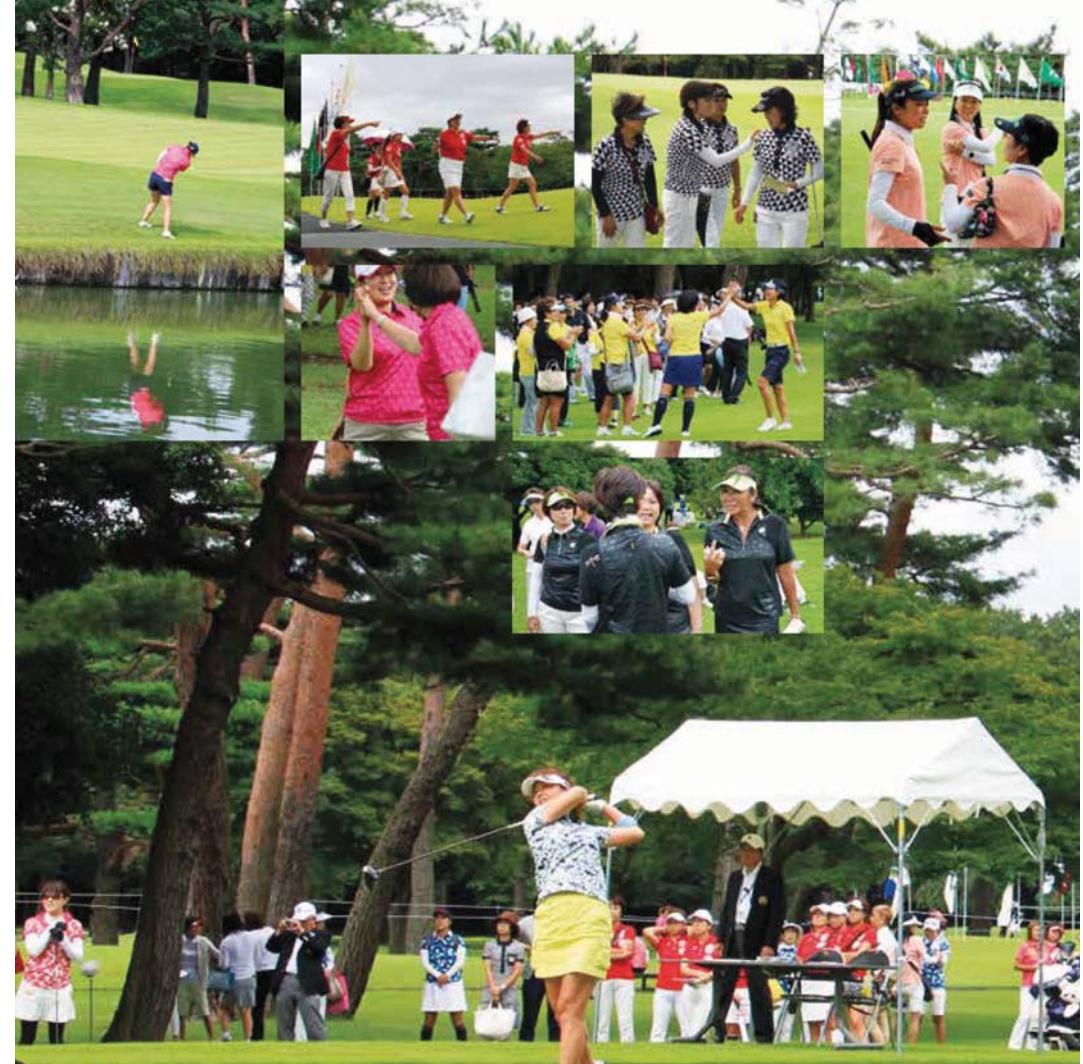
ハーフの攻略が
愛鷹・伊豆コースの
スコアメイク法。



●ベストスコア賞Aクラス・佐々木清士(葛城) 71 / Bクラス・成田朋正(豊岡国際)、植松真一(沼津)、小島哲志(伊豆にらやま) 76

「無欲」と「悲願」の1打差の明暗はニッソーゴルフに

1都10県の203俱楽部 1080人が参加の大きな競技会に



関東女子ゴルフ部対抗が創始され、今年は6回目の開催となる。すでに伝統を感じさせる大きな競技に成長しているが、それに連れて各俱乐部のチーム・ユニフォームも落ちてきただよ。

今回の決勝競技の会場、8月24日(月)の武藏カントリークラブ豊岡コースには、36俱乐部から144名が参加した。チームウエアのトレンドは、ボロシャツの背中のプリント文字だらう。俱乐部名がデザイン的に描かれている。また流行のマイクロ柄(小さい絵柄を全面プリント)も目立つ。

これらに足して、もっと「お祭り」気分を楽しんでは?たとえばチーフカラーのタオルやスカーフなどを揃え、首まわりのアクセントだけではなく、振って仲間を応援させていい。ウェアに合わせたハット、キャップ、バイザーなども、俱乐部をアピールできそうな小物だ。

さて競技だが、2人がホールアワントした時点で富里ゴルフ俱乐部、成田東カントリークラブ、ニッソーカントリークラブ、鹿沼カントリー俱乐部が一歩抜け出す。多くの俱乐部がエース級の選手を先発させていて、先行逃げ切り作戦だと予測できた。そのエースが俱乐部全員の期待に応えて、日頃の実力を發揮している。

富里GCには、「どうしても勝ちたい」理由があった。

「この大会の直前に、チームメイトの原友美さんをガンで失いました。明

るい性格のムードメーカー」だっただけに、笑顔で優勝を天国に届けたかったのですが……』と、富里GCの篠塚美幸キャプテンは悔しさを隠さない。前半の7打リードを逆転されて、1打差の2位だった。

逆に、ニッソーゴルフの勝因は「無欲」だったからかもしれない。茨城会場予選は関東女子ゴルフ部対抗が創始されて以来、6回連続でトップ通過している。茨城に敵なし。また、昨年は決勝競技で第3位に入賞。その間、代表選手の顔ぶれはほとんど変わっていない。

ニッソーゴルフの落合美津子キャプテンがホールアウトした。前半の38から、後半はなんと32のビッグスコアだ。

「前半は球が右に曲がって、ずっと調子が悪かったんです。それがハーフターンですべてがいい方向に変わつて、自分でも嬉しいな」と驚きました。

落合は70ストロークで最優秀選手賞に輝いたが、ライバルの各俱乐部のエース選手の様子はどうか。昨年は優勝、今回は3位の鹿沼GCの角田里子は79で「グリーンのタッチが合いませんでした」と惜敗。石坂ゴルフ俱乐部の森山明子も「76」は不満だろう。5位の穂高カントリークラブは、長野からバス2台に便乗して2時間以上かけてきた。「若手3人のがんばりもあって、入賞は大満足です」と応援団。



右上から下へ。● 優勝／ニッソーカントリークラブ
● 2位／富里ゴルフ倶楽部 ● 3位／鹿沼カントリー倶楽部 ● 4位／石坂ゴルフ倶楽部 ● 5位／穂高カントリークラブ ● 6位／成田東カントリークラブ ● 7位／習志野カントリークラブ ● 8位／ノーザンカントリークラブ錦ヶ原ゴルフ場 ● 9位／木更津ゴルフクラブ ● 10位／千葉カントリークラブ ● 11位／紫雲ゴルフ倶楽部 ● 12位／赤城ゴルフ倶楽部 ● 13位／大秦野カントリークラブ ● 14位／大摩木カントリークラブ ● 15位／韋月ゴルフ倶楽部佐野コース ● 16位／裾野カントリー倶楽部 ● 17位／ワングエイコウクラブ ● 18位／彩の森カントリークラブ ● 19位／伊香保国際カントリークラブ ● 20位／八王子カントリークラブ ● 21位／鳩山カントリークラブ ● 22位／武蔵カントリークラブ ● 23位／東松苑ゴルフ倶楽部 ● 24位／新発田城カントリー倶楽部 ● 25位／青梅ゴルフ倶楽部 ● 26位／上田丸子グランヴィリオゴルフ倶楽部 ● 27位／東京カントリー倶楽部 ● 28位／ウインテージゴルフ倶楽部 ● 29位／八幡カントリークラブ ● 30位／セゴヒアゴルフクラブ イン チョダ ● 31位／オリムピックカントリークラブ ● 32位／白水ゴルフ倶楽部 ● 33位／那須カントリークラブ ● 34位／南摩城カントリークラブ ● 35位／土浦カントリー倶楽部 ● 36位／松ヶ峯カントリー倶楽部

決勝進出俱楽部

平成27年6月12日(金) 参加俱楽部数17 / 通過俱楽部数3



1位 紫雲ゴルフ倶楽部 / 327ストローク



2位 新潟田城カントリー倶楽部 / 329ストローク



3位 松ヶ峯カントリー倶楽部 / 331ストローク

ベストスコア賞



仲丸選手。
左から、フォレストCCの古泉競技
委員長、齊藤大会会長。



開催倶楽部、フォレストCCの代表選手。

蒲原平野を見渡す
なだらかな丘陵に展開する
G・プレーヤー設計の戦略コース



西コース15番ホール。

馬場敏郎
は終始和やかなか
芬闇気で行われ
ました。今まで
のプレッシャー
から解放され
た、選手の皆様の笑顔がとても印象的
でした。当倶楽部は残念ながら決勝進
出となりませんでしたが、表彰式後に
皆様をお見送りする選手の顔は、すで
に来年度への決意に満ちおりました。
当倶楽部としましても次の大会に期待
するとともに、最大限のサポートを行
なつなければと考えております。
結びとなりますが、優勝した紫雲ゴ
ルフ倶楽部をはじめ決勝進出の3倶楽
部には、新潟県の代表として頑張って
いただきたいと思います。また、女子
倶楽部対抗を通じて女性ゴルファーが
ますます増え、ゴルフ界全体が大き
く栄えることを切に願います。

(フォレストカントリー倶楽部支配人
仲丸さよ枝(越後)73)



新潟

会場予選

積雪クローズ前の秋頃からこの日のために準備を開始

58

DATA 5758yards Par72 ■ ベストスコア賞・仲丸さよ枝(越後)73

6月12日(金)、関東女子倶楽部対抗新潟会場予選競技を無事に終えることができ、関東ゴルフ連盟の競技委員をはじめ競技に携わっていたいただいたすべての方々に、厚く御礼申し上げます。

開場40周年を迎えた当倶楽部では、これまでにKGA主催競技を数多く開催させていたたいでいるため、スタッフもある程度経験を積んではおりますが、気持ちを引き締めのスタッフ一同、致団結し、準備運営に取り組んでまいりました。特にコース管理に関しては、冬期間に積雪でクローズを余儀なくされたため、前年よりバンカーの改修工事やグリーンの整備にとりかかっておりました。その甲斐もあって最高のコースを選手の皆様にご提供でき、プレーを楽しんでいただけたのではないかと思っております。

競技当日の朝は心配されていた雨も大降りにはならず、スタートホールには多くのギャラリーが集まり声援を送りました。その声に応えるかのよう、色とりどりのウェアに身を包んだ選手たちは順調にスタートして行きました。また、ハーフを終了した選手たちで、各倶楽部の応援団が暖かく出迎え、用意してきた昼食をつまみながら談笑する姿が、あちこちちらで見られました。これも倶楽部対抗ならではの光景です。

すべての組がラウンドを終え、表彰式

決勝進出俱楽部

平成27年6月5日(金) 参加俱楽部数12 / 通過俱楽部数2



1位 上田丸子グランヴィリオゴルフ倶楽部／306ストローク
関東女子個人選手権 最終日



2位 稲高カントリークラブ／312ストローク

ベストスコア賞



小川原選手。



左から。上田丸子グランヴィリオGCの
班会議室長、八木大会会長。



上がつてくるまでは接戦の様子です。

表彰式は柴田競技担当委員長の成績

発表にはじまり、当俱楽部が開催俱楽

部のプレッシャーをはねのけ、3年ぶ

りの優勝を手にしました。2位は穗高

カントリークラブで、上位2俱楽部が

8月24日(月)に武藏カントリークラブ

豊岡コースで開催されます決勝競技に

進出です。

また本競技を盛り上げていただきま

した参加選手・参加俱楽部関係者に敬

意を表し厚く御礼申し上げます。八木

大会長はじめ関東ゴルフ連盟の役

員、競技委員の皆様、俱楽部運営委員

の皆様のご指導ご協力により、無事本

競技を終了することができましたこと

をご報告させていただきます。ありが

とうございました。

(上田丸子グランヴィリオゴルフ倶楽部

フロントチーフ・簗田孝明)

長野

会場予選

上田丸子グランヴィリオゴルフ倶楽部

みまき・さくらコース

LPGA公認競技開催コースに12俱楽部が集結して熱戦を展開

6月5日(金)、長野県内12俱楽部が集結し、決勝進出の2枠をかけ競技が開催されました。

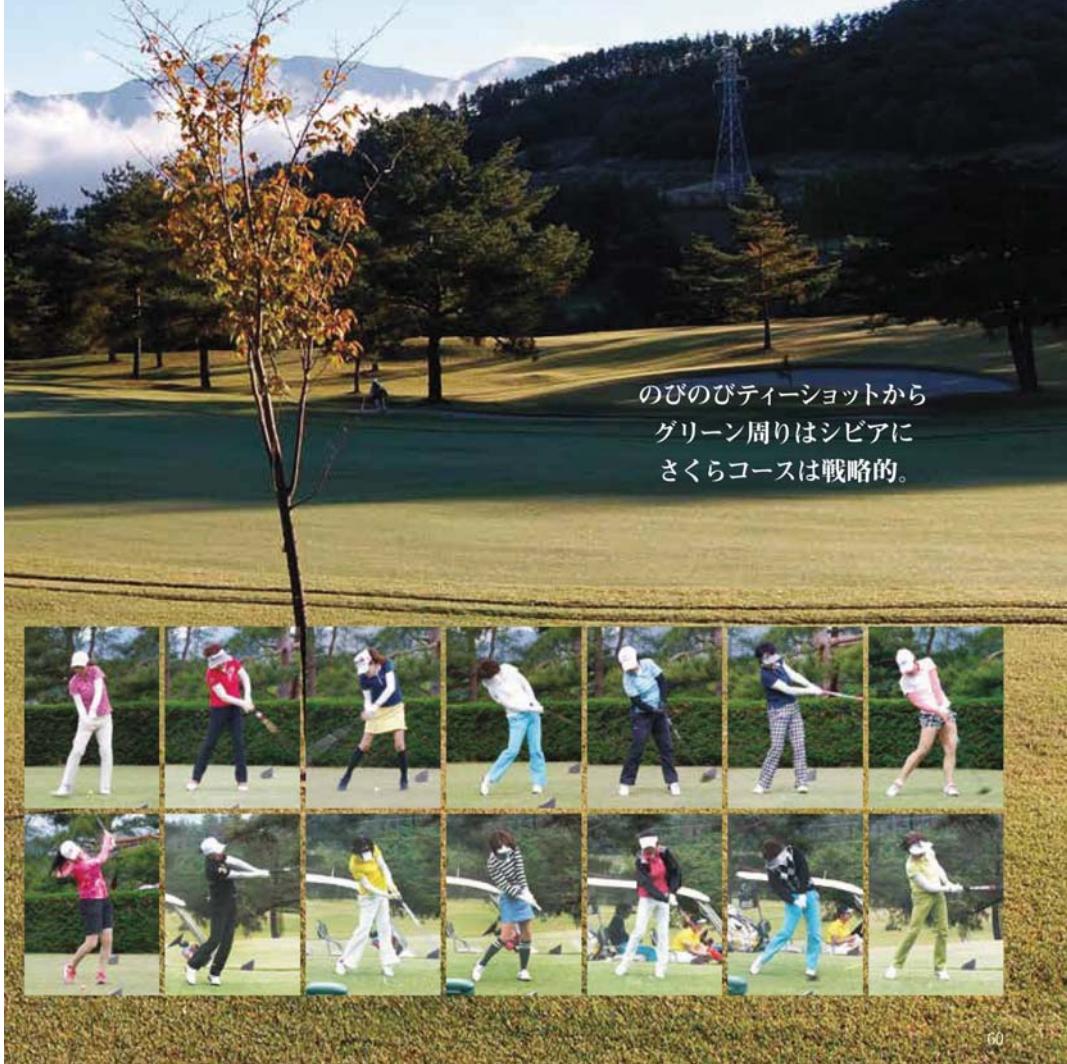
この時期にしては肌寒いなか、午前8時に競技が開始となり選手名がコールされるたびに、ギャラリーの皆さん、参加俱楽部の関係者から拍手が送られ、12俱楽部72名の選手が栄誉をかけスタートして行きました。

9番ホールと18番ホールでは選手がホールアウトした後、各俱楽部の方がスコアチェックをし「ナイスプレー!」「後半も頑張りましょう!」など声援を送っています。

前半9ホールだけではなく全体の順位が分からずヤキモキするなか、トップス

ターの組が上がりつづけると選手にスコアの確認をし、今度はスコアボードに注目が集まります。選手はプレーが終わるスコア確認を無事終了すると、緊張感から解放され安堵の表情を浮かべます。

最終ホールやスコアボードの前にはプレーを終えた選手・応援団で少しずつ人数が増えてきます。中盤の選手が



のびのびティーショットから
グリーン周りはシビアに
さくらコースは戦略的。

平成27年度関東女子ゴルフ選手権大会開催コースとなりました。

昨年の俱楽部対抗開催の経験、反省を踏まえ、競技参加者の皆様と関係者の方々を最高のコンディションでお迎えすべく、会員、競技委員会、女子研修会、従業員が力を合わせ、当日の運営をより良く行われるよう準備に努めてまいりました。

しかし5月に入り気温も上昇し、雨も降らず乾燥でコース、グリーンとともに弱り、散水作業を最大限稼働させました。一部、焼けて赤くなってしましましたが、開催当日までは無事に緑に回復しました。

当俱楽部の設計はダイ・デザイン社で、グリーンはアンジュレーションがきつく、カップ位置によっては非常にシビアになります。開催当日のグリーンスピードについても神経をつかいましたが、満足いただけるコンディションで開催することができたと思っております。前日の雨も上がり、開催当日は少し日差しのある絶好の天気になり、色とりどりの俱楽部旗がはためきます。スターティングホール周辺には、おしゃれなカラフルなウェアなどで揃えた選手が登場し、選手名がコールされるたびに、応援の皆様から温かい声援と拍手が送られます。俱楽部対抗独特の雰囲気の中、各俱楽部選手は勝負服で11俱楽部66名の選手による女子ゴルフ選手権大会開催が、午前8時に華やかにスタートしました。

しました。

午後に入り次々と選手があがりはじめに、各俱楽部の選手のスコアが記入される都度、歓声と溜息が入りまじり、俱楽部対抗の熱気が高まりました。

熱戦が繰り広げられた結果、ヴィンテージゴルフ俱楽部が優勝。当俱楽部の選手は開催俱楽部として重いプレッシャーのかなでしたが、2位に入り決勝進出を果たすことができました。決勝競技へ進む1位通過のヴィンテージG.C.とともに、山梨県代表俱楽部として決勝競技での活躍を期待し、応援したいと思います。

最後に、競技開催にあたり参加俱楽部の皆様、競技担当委員長、競技委員会の皆様や関係者の皆様のご支援ご協力により、無事に競技を開催できましたことを心より御礼申し上げます。
(オリムピックカントリークラブ支配人
佐藤幸一)

決勝進出俱楽部

平成27年6月4日(木) 参加俱楽部数11 / 通過俱楽部数2



1位 ヴィンテージゴルフ俱楽部 / 332ストローク



2位 オリムピックカントリークラブ / 337ストローク



左から。オリムピックCCの久保企画開発本部企画長、山田大会会長、
山田競技委員長、山田大会会長。

鬼才P・ダイの意匠を見事に反映した複雑なグリーン。



山梨

オリムピックカントリークラブ ふじさくら・
はなみずきコース
会場予選 絶好の天気におしゃれでカラフルなウェアの選手の皆様が集合!



伊香保国際カントリークラブ

赤城 棟名
コース

3年前の男子予選競技開催のノウハウでスマーズに進行

決勝進出俱乐部

平成27年6月4日(木) 参加俱乐部数17 / 通過俱乐部数3



1位 白水ゴルフ俱乐部 / 320ストローク



2位 伊香保国際カントリークラブ / 327ストローク



3位 赤城ゴルフ俱乐部 / 330ストローク



伊香保国際CCの
藤原競技委員長。



選手全員でお見送り。



技術の棟名コース
パワーの赤城コース
多彩な攻略ルート。

6月4日(木)、競技当日は前日から雨もあり晴天微風。気温も20度を越える絶好のゴルフコンディションのか、関東女子俱乐部対抗群馬会場予選競技は開催されました。

第1組のスタートが午前8時でしたが、午前6時過ぎには選手が集まりはじめました。当日は和氣あいとし和やかさのなかにも、団体戦特有の緊張感を感じました。各俱乐部から声援のなか、午前8時定刻に第1組がスタートし、競技が開始されました。

当俱乐部での関東俱乐部対抗予選競技は、女子予選会は初めてのことではあります。男子予選会を3年前に開催しております。ほとんどの従業員に競技会の経験があつたことや、K.G.A事務局からの的確な指示をいただき、運営面では競技出場選手や各俱乐部関係者の皆様に、ご迷惑をかけずに済んだものと思っています。

コース整備については大会前々日までの数週間降雨が多く、散水に苦慮していましたが前日に5mm程度の降雨があり、芝の青さとフェアウェイの柔らかさを取り戻したようでした。昨年までは4俱乐部が決勝へ進出できたものが、今年からは3俱乐部に減少し、狹き門をめぐる予選会となりました。競技は途中から時折り強風の吹





1位 那須カントリークラブ／327ストローク



2位 東松苑ゴルフ倶楽部／328ストローク



3位 鹿児島ゴルフ倶楽部佐野コース／329ストローク



4位 南摩城カントリークラブ／329ストローク



左から、
藤崎大会会長から
ベストスコア賞授与の
上野選手。
芳賀CCの
森村社長、
吉村キャプテン。
佐藤剛平



トップの選手たちがホールアウトし、スコアボードにスコアが書かれ始める頃には周辺にギャラリーが集まり、各俱楽部のスコアに一喜一憂する声が響いていました。選手たちのスマーズなプレー進行により、表彰式は予定より早い時刻からはじめることができ、和やかな雰囲気のなか、無事に競技を終えることができました。当俱楽部は5位となり残念ながら予選通過は叶いませんでした。芳賀チームの分までがんばっていただけだと思います。

最後になりますが、競技開催に際して大きなご協力をいたいたい藤崎大會長ならびに多勢競技担当委員長、競技委員の皆様、各俱楽部の選手、関係者、ボランティアの皆様に心より御礼申し上げます。ありがとうございます。(芳賀カントリークラブ支配人 佐藤剛平)



栃木 会場予選
芳賀カントリークラブ 南・西コース
数か月間女性競技の想定練習をして当日は万全
平成27年6月11日
(木)、関東女子倶楽部対抗戦会場予選競技が、当倶楽部で開催されました。参加26倶楽部、総勢129名で実施。当日の天気予報は曇りでしたが、まったくハズレ、梅雨入りしたとは思えないほど晴天に恵まれた絶好のゴルフ日和となり、この時期としては良いコンディションで各倶楽部の選手をお迎えすることができました。久しぶりの競技開催、しかも女性の競技ということで、数か月前よりシミュレーションをし、施設の問題日々どのように解決しながら競技となりました。



決勝進出俱乐部

平成27年6月9日(火) 参加俱乐部数24 / 通過俱乐部数4



1位 ニッソーカントリークラブ / 335ストローク



2位 ワンウェイゴルフクラブ / 336ストローク



3位 セゴビアゴルフクラブ イン チヨダ / 339ストローク



4位 土浦カントリー倶楽部 / 341ストローク

ベストスコア賞

左から。
君島選手、沓澤選手。



左から。霞台CCの大矢キャプテン、川村理事長、安成大会長。

成するという偉業もあり、また残りの決勝進出の3俱乐部ワンウェイゴルフクラブ、セゴビアゴルフクラブインチヨダ、土浦カントリー俱乐部)が初の決勝進出であったことで大いに盛り上がり、役員の皆様の笑顔を誇っていました。

当俱乐部は澄明な霞ヶ浦の南に位置し、爽快に楽しめる36ホールを有するゴルフ場であります。平成21年には関東俱乐部对抗茨城第一会場予選を筑波コースにて開催し、今回、当俱乐部が開場45年を迎えたこの年に、女子俱乐部对抗を開催できることは大変光栄あります。(霞台カントリークラブ支配人・山田弘一)

成するという偉業もあり、また残りの決勝進出の3俱乐部ワンウェイゴルフクラブ、セゴビアゴルフクラブインチヨダ、土浦カントリー俱乐部)が初の決勝進出であったことで大いに盛り上がり、役員の皆様の笑顔を誇っていました。

当俱乐部は澄明な霞ヶ浦の南に位置し、爽快に楽しめる36ホールを有するゴルフ場であります。平成21年には関東俱乐部对抗茨城第一会場予選を筑波コースにて開催し、今回、当俱乐部が開場45年を迎えたこの年に、女子俱乐部对抗を開催できることは大変光栄あります。(霞台カントリークラブ支配人・山田弘一)

また、テント村では雨が吹き込むようない状況でも、各俱乐部の皆様、ギャラリーとの対応には感謝申し上げます。表彰式ではニッソーカントリークラブが5連覇(報知杯を含む)と6連覇)を達

成しましたが、朝方の荒天のなか16時過ぎに無事プレーを終了することができましたのは、24俱乐部・120名の選手の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

最終組のスタートが20分を超える遅れとなりましたが、朝方の荒天のなか16時過ぎに無事プレーを終了することができましたのは、24俱乐部・120名の選手の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

また、雲り空となつたこととでグリーン・フェアウェイの状況は大きく改善されました。バーラーの皆様を悩ませました。

10時を過ぎた頃より小雨になり、午後からは雲り空となつたこととでグリーン・フェアウェイの状況は大きく改善されました。バンカー内の排水が追いつかずになり、プレーには迷惑をかけることとなりました。

当日は前日に関東地方

子俱乐部対抗茨城会場

予選競技が、6月9日

(火)に開催されました。

方の梅雨入りが発表されましたが、朝から雨となりました。

あり寒さを感じることはありませんでしたが、時折吹く突風により

20度を超える気温により

ブレーザーおよびギヤラリーの皆様を悩ませました。

茨城
会場予選

霞台カントリークラブ 霞コース





決勝進出俱楽部

平成27年6月8日(月) 参加俱楽部数23 / 通過俱楽部数4

1位 石坂ゴルフ俱楽部 / 319ストローク



2位 ノーザンカントリークラブ 錦ヶ原ゴルフ場 / 327ストローク



3位 鳩山カントリークラブ / 328ストローク



4位 彩の森カントリークラブ / 329ストローク

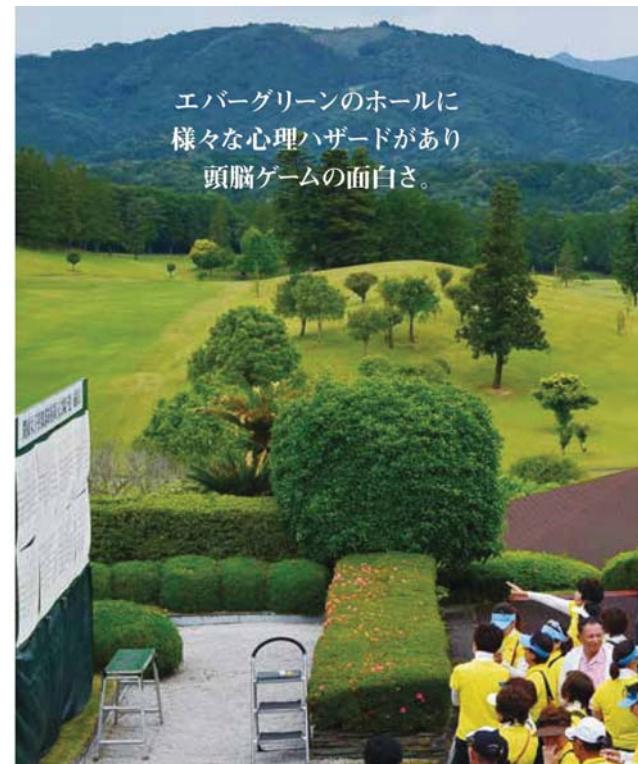
ベストスコア賞



和田選手。



左から。越生GCの木村競技委員長、錦織社長、吉田大会長。



エバーグリーンのホールに
様々な心理ハザードがあり
頭脳ゲームの面白さ。



好天に恵まれ大勢のギャラリー。



プロフェッショナル登場

越生GC・安藤 仁グリーンキーパー

温暖な気候で芝に優しい環境

周囲の山々の景観が自慢ですが、高山がないので自然環境は安定しています。芝も通年良好な状態を保っています。今競技でも予定どおり10フィートでした。ただ天候だけはどうにもならず、競技の3日前の降雨がまさに“天の恵み”でした。



4月の中旬から5月の中旬までの約1か月間、ほんの僅かな雨しか降らないかったため、フェアウェイとラフのほとんどが焼けて赤くなり、このまま競技当日を迎えるのかと心配しましたが、直前になつてようやくまとまつた雨が降って、なんとか芝も落ちきを取り戻し、本競技を開催することができました。

年が明けて2月頃から少しづつ練習に来場するチームを見かけるようになり、3月中旬から4月初旬まで、競技に使用するグリーンがメンテナンスで使用できなかつた期間が終ると、練習と練習チームの来場が増え、ゴールデンウイークが過ぎた頃から開催俱楽部も、いよいよハイドッグが始めてきました。

競技当日は絶好の天候に恵まれ、毎年恒例となった競技に応援も続々と集まり、独特な緊張感のなか、多くのギヤラリーに見送られながら予定どおり7時30分にスタートを切った。グリーンのスピードもほどほどで競技は順調に進み、最終ホール周辺で待ち構える応援団が選手にスコアを確認し一喜一憂する姿と、スコアボード前に集まつて他俱楽部のスコアを計算している応援団の姿は、まさに俱楽部対抗の名物で、なんとも言えない独特的な光景となっていました。

競技を円滑に安全に進めるため、当俱

楽部の会員をはじめ、近隣俱楽部の研修生にも応援をお願いして、フォアキャディーやクラブハウス周辺の交通整理、ギャラリーの駐車場案内と多くの皆様に手伝っていただき、お陰さまでスムーズに進行し事故もなく無事終了することができました。この競技開催が決まってから終了するまでに携わっていたいたい皆様、本当にありがとうございました。ただ、開催俱楽部の我がチームが「失格」という結果に終わったことが、唯一残念になりました。この教訓を今後に生かし、来年以降二度とこのようなことが起こらないよう、俱楽部一丸となって精進してまいりたいと思います。

そして最後に、関東ゴルフ連盟の津堅競技担当委員長をはじめ競技委員の方々には様々な指導をいただき、埼玉地区予選競技は大成功に終わることができました。心より御礼申し上げます。(越生ゴルフクラブ支配人・渡部正喜)



開催俱楽部、越生GCの代表選手と関係者。

埼玉

会場予選

越生ゴルフクラブ

会員や近隣俱楽部の研修生が緑の下の力持ちで大活躍！



決勝進出俱楽部

平成27年6月1日(月) 参加俱楽部数17 / 通過俱楽部数3

①位 八幡カントリークラブ / 316ストローク



②位 成田東カントリークラブ / 318ストローク



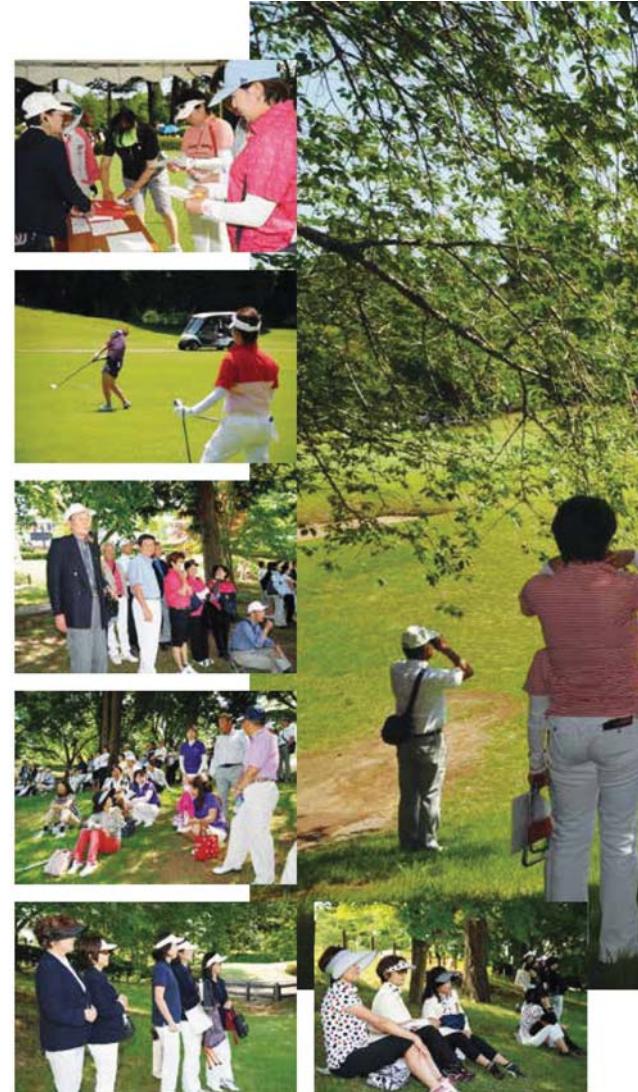
③位 習志野カントリークラブ / 320ストローク



西野選手の正確な
パッティング。



左から。新千葉CCの土屋運営委員、大坪理事長、渡邊大会会長。



開催俱楽部の大坪成彬理事長の挨拶に続き、優勝された八幡カントリークラブの横山由利子キャプテンのスピーチ。「6年前の第1回競技では最下位でありました。俱楽部が、今回1位になり感無量です。決勝大会では千葉第1会場代表として頑張ります」と挨拶があり、会場からは大きな拍手が湧き起きました。

2位の成田東カントリークラブ、3位の習志野カントリークラブの上位3俱楽部が、8月24日に埼玉県の武藏カントリークラブ豊岡コースで開催される決勝大会に出場することが発表され、無事競技が閉幕しました。

競技委員の皆様ならびに参加俱楽部の関係者ご尽力に感謝申し上げます。
(新千葉カントリー俱楽部総務部参事
川崎正則)



上田治氏設計の54ホール
つくもコースは
コントロールが決め手。



新千葉カントリー倶楽部 つくもコース
優勝の八幡CCは「第1回競技ではビリ」の談話に沸く

第1会場予選
開催倶楽部、新千葉CCの代表選手。

ギャラリーはコース内立ち入りがスルトホールのティー付近と、9番、18番のグリーン周辺に制限されていたために、スタートホールと上がりホールに集中し、日差しを避けて木陰で観戦していました。

競技はトラブルもなく進行しましたが、集計途中でベストスコアの75が3名となりたために、急きよ目録の準備をしたのですが、最終組の前に上がった館山カントリークラブの西野萌々選手が、38・35の73でベストスコア賞に輝きました。

開催当日の最高気温は26度、雲も少ない快晴でした。前日の日曜日が大雨との予報があり心配しましたが、雨も降らずに最高のコンディションとなりました。応援団席はカート庫のため、カートが出庫した8時過ぎからの設営となりました。各俱楽部が趣向を凝らしたお弁当や飲み物を持参し、賑やかに選手やギャラリーを接待していました。

ギャラリーはコース内立ち入りがスルトホールのティー付近と、9番、18番のグリーン周辺に制限されていたために、スタートホールと上がりホールに集中し、日差しを避けて木陰で観戦していました。

競技はトラブルもなく進行しましたが、集計途中でベストスコアの75が3名となりたために、急きよ目録の準備をしたのですが、最終組の前に上がった館山カントリークラブの西野萌々選手が、38・35の73でベストスコア賞に輝きました。

決勝進出俱乐部

平成27年6月2日(火) 参加俱乐部数17 / 通過俱乐部数3



1 位 富里ゴルフ俱楽部／326ストローク



2 位 千葉カントリークラブ／333ストローク



3 位 木更津ゴルフクラブ／335ストローク



プロフェッショナル登場

船橋CC・出山正充グリーンキーパー

会員の理解でコースが若返り

開場して53年の歴史がありながら、逆にコースは年々若返っています。会員の世代交代が進み、若い方の声を受けて樹木の剪定、ムダな枝払いを実施。広葉樹主体の自然林は若返り、季節の花も楽しんでいただけます。



種類豊富な樹木の
景観がハザードにもなる
林間コースの楽しみ。



開催俱乐部、船橋CCの
代表選手と関係者。



台グリーンと、
グリーン周りに
配置されたバン
カーが特徴です。
序盤では緊張
のあまりか、誤
所からのティー
ショットなども生
じるなど、選手
の皆様は総じて
苦戦を強いられ
ていたようです。

競技開催日日至るまでの数か月、各
出場俱乐部の選手たちは、当俱乐部で
新しく作成したばかりのジョー・エド
ワース氏のゴルフメモを参考に、定期
的に週に数回、直前では連日、練習ラ
ウンドを繰り返されていらっしゃいまし
た。そのように大変多くの選手の皆様
に親しく接していただき、感謝してお
ります。

また、各俱乐部からの応援の方々に大
勢ご来場いただき、テントプレースも大
賑わいで、俱乐部対
抗独特的の雰囲気に入
まれておりました。

選手たちは違い、
選手たちは違い、
こちらでは他俱乐部
との親交を深めたり
と、お祭り気分で和
氣あいあいと時間が
過ぎていきました。

当俱乐部では競技
開催前から、練習ラ
ウンドにお見えにな
られた各俱乐部の選手の皆様の様子や、
競技に向けたコースメンテナンスの様
子などを、当俱乐部のフェイスブック
ページなど「SNS」を通じ発信し、共
有してまいりました。

その結果、今回の競技開催を通して
ゴルフを愛する気持ちを皆様と共にで
きたことは、俱乐部や競技の垣根を超
える格別な至福の体験でした。

今回の競技を通じ、長期にわたり俱
乐部の各部署が連携し、一丸となつて
取り組んで来た成果が、競技者や応援
の皆様にも喜んでいたたける結果に繋
がつたと自負しております。

最後に、競技開催にご尽力いただいた
ゴルフ連盟の方々、各俱乐部のキヤ
ブテン、選手の皆様に心から感謝申し
上げます。(船橋カントリー俱乐部支
那人・石井明)



千葉

第2会場予選
ネット活用の情報発信で交流を深める新しい試みが成功！

船橋カントリー俱乐部

東京よみうりカントリークラブ

あの「日本シリーズ」最終日と同じ設定に選手も興奮

決勝進出俱乐部

平成27年6月8日(月) 参加俱乐部数12 通過俱乐部数2



1位 青梅ゴルフ俱乐部 / 345ストローク

東京よみうりCC・
大橋敏之グリーンキーパー

芝種選択が成功しても
日々の努力は怠らず

昨年工事したペント
リーンは天候にも恵まれ良
い状態を保ち、採用した芝
種のシャークは非常に美し
く、適度な密度を保ち、順
調に管理しております。

今回のグリーンの状態は
スティングで11フィート、コ
ンパクション23で、まます
まざのコンディ

プロフェッショナル登場

芝種選択が成功しても
日々の努力は怠らず

昨年工事したペント
リーンは天候にも恵まれ良
い状態を保ち、採用した芝
種のシャークは非常に美し
く、適度な密度を保ち、順
調に管理しております。

今回のグリーンの状態は
スティングで11フィート、コ
ンパクション23で、まます
まざのコンディ

芝種選択が成功しても
日々の努力は怠らず

昨年工事したペント
リーンは天候にも恵まれ良
い状態を保ち、採用した芝
種のシャークは非常に美し
く、適度な密度を保ち、順
調に管理しております。

今回のグリーンの状態は
スティングで11フィート、コ
ンパクション23で、まます
まざのコンディ

芝種選択が成功しても
日々の努力は怠らず

昨年工事したペント
リーンは天候にも恵まれ良
い状態を保ち、採用した芝
種のシャークは非常に美し
く、適度な密度を保ち、順
調に管理しております。

今回のグリーンの状態は
スティングで11フィート、コ
ンパクション23で、まます
まざのコンディ

芝種選択が成功しても
日々の努力は怠らず

昨年工事したペント
リーンは天候にも恵まれ良
い状態を保ち、採用した芝
種のシャークは非常に美し
く、適度な密度を保ち、順
調に管理しております。

たしました。ベストスコア賞は青梅ゴ
ルフ俱乐部の金井佳代選手の76打。
表彰式では青梅ゴルフ俱乐部の大越
景子キャプテンより喜びの声と、決勝
大会に向けての意気込みを聞かせて
ただきました。

開催にあたり、ご尽力いただきまし
た関東ゴルフ連盟競技関係者の皆様を
はじめ、関係するすべての皆様に感謝
を込めて、心より御礼申し上げます。
(東京よみうりカントリークラブ総支配
人・小山興志)



2位 八王子カントリークラブ / 349ストローク



開催俱乐部、東京よみうりCCの代表選手と関係者。

ベストスコア賞



金井選手。



18番ホールを前に佐藤大会会長(左)と
東京よみうりCCの関根理事長。



開催俱乐部によるお見送り。



東京よみうりCCのスタッフ。



2~3m グリーンコンディション=スティングメーター111 コンパクション=23(山中式硬度計)



1位 大厚木カントリークラブ／347ストローク



2位 東京カントリー倶楽部／356ストローク



3位 大秦野カントリークラブ／356ストローク

ベストスコア賞



岡橋選手(左)に
賞品を授与する
廣幡大会会長。

葉山国際CCの
井上理事長。



ゆったりしたロビーで談話。



雨でもコンディションは良好。



スコアボードの前は終日人だかり。



開催倶楽部、葉山国際CCの代表選手と関係者。



海と山の絶景を

都心から1時間で体感

36ホールは個性的で戦略性豊か。

当俱楽部は東京都心よりわずか1時間とアクセスが良く、夏は涼しく冬は暖かい気候に恵まれ、相模湾・富士山・東京湾・房総半島などを一望できるコースとして、多くのゴルファーに親しまれています。

昨年、開場50周年記念事業としてエメラルドコースのワンダーリーン化改修工事を実施し、俱楽部対抗を開催するふさわしいコースへと生まれ変わりました。当俱楽部での関東俱楽部対抗開催は、昭和57年の男子競技開催以来、33年ぶりの開催ということで手探りでの準備でございました。開催決定からスタート直前ぎりぎりまで、従業員一丸となつてきめ細かいコース整備および施設整備を続けてきました。

競技当日は朝から強い雨に見舞われ開催が心配されましたが、新グリーンは水はけが良く無事開催することができました。各俱楽部の関係者・応援団の皆様には、悪天候のなかでの観戦となり大変ご不便をお掛けいたしましたが、クラブハウスロビーで行つた9番グリーンのモニター中継は、大変ご好評をいただき、梅雨時期の悪天候を想定して準備を進めた甲斐がございました。

競技結果は1位・大厚木カントリークラブ、2位・東京カントリー倶楽部、3位・大秦野カントリークラブが決勝進出を果たされました。誠におめでとうございます。

当俱楽部の従業員は予選競技開催を通じ、大変貴重な体験をさせていただきました。この経験は今後の俱楽部運営に必ず活かしてくれるものと、確信しております。

当俱楽部の従業員は予選競技開催を通じ、大変貴重な体験をさせていただきました。この経験は今後の俱楽部運営に必ず活かしてくれるものと、確信しております。

末筆ではございますが、本競技が無事終了できましたことは、KGA 幹部会長はじめ荒井競技担当委員長、役員、競技委員の皆様、そして当俱楽部理事・監事・委員ならびにメンバー、ボランティアの皆様方の多大なるご理解・ご協力の賜物であり、ここに改めて感謝と御礼を申し上げます。

(葉山国際カントリー倶楽部支配人代理・及川善規)

神奈川
会場予選

葉山国際カントリー倶楽部
エメラルド
開場50周年記念事業・ワンダーリーン化を関東にお披露目



1位 堀野カンツリー倶楽部／330ストローク



開催倶楽部、沼津GCの代表選手と関係者。



駿河湾を望む
海鮮の町・沼津の
19番ホールでグルメ三昧。



中澤選手。



左から。沼津GCの競技委員長の清谷理事、キャディー委員長の
茂木理事、福田大会会長。

(沼津ゴルフクラブ副支配人・山本康夫)

ケットを身にまとった選手が一堂に会し、成績発表では倶楽部名が読み上げられる、該当の席から大歓声とともに拍手が送られました。

当倶楽部は優勝されました堀野カンツリー倶楽部に3打差および2位と、残念ながら決勝進出には至りませんでしたが大健闘いたしました。表彰式の最後には、ベストスコア賞に輝いた当倶楽部の中澤寛子選手より、決勝に進出される堀野CCの選手一同にエールを送り、関東女子倶楽部対抗静岡会場予選競技は閉会しました。

今回、当倶楽部は男女ともに静岡予選会場として開催させていただき、微力ではございましたが、福田大会会長、橋本競技担当委員長はじめ競技委員の皆様、関東ゴルフ連盟の皆様、当倶楽部での開催にあたり尽力いただいた皆様方のおかげで、大きなトラブルもなく、無事に競技を終ることができました。また当倶楽部スタッフ一同も、普段では得られない貴重な経験をさせていただくことができました。今後はこの経験を活かし、皆様から愛されるゴルフ場を目指していきます。今大会に関わったすべての皆様に感謝。

静岡

会場予選

沼津ゴルフクラブ 愛鷹・伊豆コース

男子に引き続き6月11日(木)に沼津ゴルフクラブにおいて、関東女子倶楽部対抗静岡会場予選競技が開催されました。

沼津GCは中村寅吉、石井朝夫両氏監修の駿河湾を望むなだらかな地形に造られた丘陵コースです。地形を巧みにレイアウトに活かした、戦略性と芸術性を絶妙に調和させた設計です。

また黒川紀章氏の設計思想で貢献されたクラブハウスは、高級感を持つつも居心地の良い空間となっています。

今回の静岡会場での開催は、8チームと昨年より1チーム増えましたが、決勝進出チームが2チームから1チームへと減り、各倶楽部にとってかなり厳しい戦いとなりました。

競技3日前に梅雨入りした天気が心配されましたが、当日は一日曇りで暑すぎず雨も降らず、ますますの天気に恵まれたと思います。

予定どおり8時より8チーム48名の選手が各チーム色とりどりのおしゃれな勝負服で「ナイスショット!」と温かい声援と拍手で、華やかにスタートいたしました。

トラブルもなくスムーズな進行で、15時前には表彰式を開式することができます。KGAのテーマである「Play Fast」も達成できたのではないかでしょう。表彰式ではジャ



MEMO

コース／18ホール：パー72：コースレート72.1（Aグリーン・バックティー）グリーン／2ペントグリーン 交通／車は館山自動車道、君津インターフェイスから25km：電車はJR外房線・安房鴨川駅下車 タクシーで約15～20分
ニアピン推奨ホール：4H・12H
ドラコン推奨ホール：8H・15H
練習場／25ヤード：8打席
宿泊施設／あり
クレジットカード：ご利用可。
●競技委員長 橋本廣志●ハンディキャップ委員長 千葉誠士●エチケック・フェローシップ委員長 北澤義廣



当俱楽部は千葉県の温暖な気候に恵まれた南部に位置し、昭和62年4月にメンバーシップゴルフ場、香木原カントリークラブとして開場いたしました。

平成26年10月1日より俱楽部名を「君津香木原カントリークラブ」と変更し、多くのゴルファーの皆様をお迎えしております。

またコース設計者は、かの有名な宮本留吉プロが生涯最期に、設計監修を行ったコースです。君津の地形を活かし、コースレイアウトは全体的に親しみやすいでしょう。フラットではなくトレードなコースながら、各ホールには池やクリークがほどよくレイアウトされ、自然の持つ造形美と戦略性に富んだコース。ビギナーから上級者まで、ご満足のいくプレーをお楽しみいただけます。

伝説の名手・宮本留吉翁の遺作は君津の地形を活かした戦略コース

君津香木原カントリークラブ

コース設計・宮本留吉プロ設計監修(6789Yards Par72)

KIMITSU KAGIHARA COUNTRY CLUB

〒292-0527
千葉県君津市香木原288
電話 0439-39-2209
FAX 0439-39-3283
HP <http://www.k-kagihara.jp/>

開場 ● 1987年4月8日
理事長 ● 杉本英世
支配人 ● 雨森和彦



して加盟させていただき、スタッフ一同、お客様にこれまで以上にご満足いただけるよう努力いたす所存でありますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ル。ティーショットを刻んで少し距離は残るが、上段のフラットな地点よりセカンドショットを狙うのもひとつの手段。この度、関東ゴルフ連盟に正会員と

して加盟させていただき、スタッフ一同、お客様にこれまで以上にご満足いただけるよう努力いたす所存でありますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



山岳コースでありながら比較的大なフラットに設計された5番と12番ホールでは、各所に配置されたハザード、グリーン周りに仕掛けられたトラップが戦略性をさらに高めています。8番、15番ホールは果敢に攻め、ワンオンを誘う魅惑のミドルホールとなっており、ホール毎に戦略性の異なる変化に富んだ18ホールが続います。

挑戦意欲を常に掻き立てる個的なホールを通して、体と心でゴルフの醍醐味を感じていただけるでしょう。



レストランからのインコースの絶景。



時に神秘的な雲海を現す。

ゴルフライフの一層の充実と、お客様の期待を超えるゴルフ場サービスの提供を目指し、新たな気持ちでスタッフ一同努めてまいります。よろしくお願い申し上げます。

当俱楽部は千葉県の温暖な気候に恵まれた南部に位置し、昭和62年4月にメンバーシップゴルフ場、香木原カントリークラブとして開場いたしました。

平成26年10月1日より俱楽部名を「君津香木原カントリークラブ」と変更し、多くのゴルファーの皆様をお迎えしております。

またコース設計者は、かの有名な宮本留吉プロが生涯最期に、設計監修を行ったコースです。君津の地形を活かし、コースレイアウトは全体的に親しみやすいでしょう。フラットではなくトレードなコースながら、各ホールには池やクリークがほどよくレイアウトされ、自然の持つ造形美と戦略性に富んだコース。ビギナーから上級者まで、ご満足のいくプレーをお楽しみいただけます。

蒼い空と群青の海を雲上から眺める天空のゴルフコース

小田原城カントリー倶楽部

コース設計・株式会社日本ゴルフ証券(6350Yards Par72)

Odawarajo Country Club

〒250-0024
神奈川県小田原市根府川667
電話 0465-29-0111
FAX 0465-29-1600
HP <http://www.odawarajcc.com/>

開場 ● 1980年7月12日
理事長 ● 瓜谷綱延
支配人代行 ● 安藤卓弥

常の光景の数々と、標高400mから800mの高低差400mに展開されるダイナミックなコースレイアウトは、春と夏、夏と秋と季節が同時に感じられ、訪れたプレイヤーにお楽しみいただいております。全ホールから相模湾を見渡せるアウェイコースと、まったく趣の異なる山岳コースならではのチャレンジングなインコース。全長6350mのコースは、シニアや女性にもピックアップチャンスが訪れる優しさも兼ね備えた18ホールでござります。

なかでも、狭く長くやみつきになる緊張感のティーショット、セカンドからホールではのホールからの木漏れ陽とともに、海と空が心癒してくれる626mの難

6番ホール。

スカイツリーと同じ標高634mのティーアインググラウンドから湘南と相模湾、房総半島を見渡し、インコース6つのグリーンを眺めながら空に目標を構え、高低差100mを豪快に打ち下ろす10番ホール。

オーバーハンドで打球を放つ10番ホールは、プレッシャーを虜にする名物ホールとなつております。

インコースを一望できる展望レストラン「Sky pie」では地元、小田原の食材をふんだんに使った四季折々のメニューを用意し、プレー以外の楽しみのひとつとなるよう心掛け、ご提供させていただいております。

最後になりますが、このたび関東ゴルフ連盟に正会員として加盟させていただくこととなりました。当俱楽部をご選択いただいたすべてのお客様へ、

from

Kanto Golf Association

「TEAM KGA ジュニア」夏季強化合宿が
長野CCで開催されました



2020年東京オリンピックの表彰台を目指し、JGAナショナルチーム入り及び日本代表入りを目標とする選手の育成と強化をし、世界で活躍できる競技者を輩出するプロジェクトが「TEAM KGA ジュニア」です。

5年計画の最終年を来年に控え、これまでの輝かしい実績にさるる上積みを目指し、長野カントリークラブで「TEAM KGA ジュニア」夏季強化合宿が開催されました。平成27年8月17日(月)から19日(水)の夏休み期間中、20名の「TEAM KGA ジュニア」選手が参加しました。濃密なカリキュラムが分割の3日間は、文字どおりゴルフの心技体の“強化”に特化した内容で、選手の自覚をうながす効果があったことは間違いありません。

この夏季強化合宿の指導法は、米国の「IMGゴルファカデミー」の指導法等を参考にした最新のものです。



理想的な練習環境でショートゲーム指導。

ショット映像を解説・指導する重田参与。



本コースのラウンド、ドライビングレンジでのショット練習、芝やバンカーの実戦ショット、さらに教室では長島参与による食育指導(上)や、エチケット、マナー講座(下)である充実ぶり。

KGA GOLFER'S NEWS

no.119

編集後記

2015年10月30日発行
KGA GOLFER'S NEWS No.119
発行所／関東ゴルフ連盟
〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目18番11号
銀座SCビル4階
TEL 03-6278-0005 FAX 03-6278-0008
ホームページ <http://www.kga.gr.jp>
発行人／廣幡忠淳 編集／広報委員会

今年の関東倶楽部対抗、関東女子倶楽部対抗は、各地区予選競技からブロック大会、決勝競技まで、天候が比較的安定していました。青空の下で盛り上がりを見せる競技風景写真も、開催倶楽部様の自主制作で多く寄せられました。ご協力を感謝申し上げます。

私も茨城第2会場予選の大会会長を仰せつかり、選手の皆様の真剣なプレーを観戦しました。「チームのために全力を尽くす」選手各位の姿は、まさに倶楽部対抗ならではの光景です。我が倶楽部は今年も残念ながら定位位置でしたが「ONE FOR ALL」の精神はまったく描るぎませんでした。

(関東ゴルフ連盟広報委員会委員長・塙原 裕)



競技力でゴリーの違う
名手が一堂に会する祭典
関東倶楽部対抗決勝競技に
は、年齢別の各種KGA主催
競技の出場者が多く集結しま
す。関東倶楽部対抗は20歳の
フレッシュ社会人でも、80歳
代のベテラン・アマチュアゴ
ルファーでも、倶楽部の代表選
手に選ばれれば出場できます。
まさにゴルフは、年齢を問わ
ない生涯スポーツなのです。
日本(JGA)と関東(KGA)



小川透選手(上)は昨年の関東ミッドシニア優勝、2010年日本ミッドシニア優勝。太田智喜選手(下右)は昨年の関東ミッドアマに優勝。ともに今年の関東倶楽部対抗の最優秀選手。中部隆選手(下左)も競技で活躍中。

氷で首筋を冷やす工夫
これは便利!

これが現状です。



簡単に手製する方法はネットで。

19番ホールはワエアヒ
グルメで勝負です!

は書きませんが、アイシング
パックは千数百円程度で市販
されています。



持ち良さそう。あえて選手名



19番ホールはワエアヒ
グルメで勝負です!
関東女子倶楽部対抗は、各
チームのファッショニヤンや、ギャ
ラリーテントでの食事メニュー
をウォッチングするのも、お行
儀は悪いのですが取材の楽し
みです。

決勝競技初出場のセゴビ
AGCは、倶楽部のロゴマー
クを背中に大胆に配していま
す。代表選手でデザイナーの

飯嶋裕子さん(右)のデザイン
で、とても目立っていました。
目立つとなれば決め手は人
の数で、ノーザンCC錦ヶ原
の圧勝でした(左写真)。

当然のことにして、
技術の出場倶楽部は入れ替わり
ます。ギャラリーテントでの
昼食メニューを楽しみにして
いた倶楽部が、今年は不参加
だとちょっと淋しいもの。
取材の後得で、美味しいもの
をどうぞ。



ミドリの芝生に黄色は強烈。

ハートがワンポイントに。
ミドリの芝生に黄色は強烈。
リスケースと...
力になるから不思議です」

レディースゴルファーの持参
するボーチの中を拝見したこ
とはありませんが、アメとフ
いなら飲み込みます。これが
持ちにお応えして、素麺ぐら
いの味です」
パンカは戦略上のハザード
であり、心理的なプレッシャー
にもなります。通常は機械で
5分で砂を均すところ、特別
な競技ではすべて手作業で2
人がかりで20分かかります。



(注／関東倶楽部対抗の出場有資格者 ● 倶楽部の正会員で学生未成年者を除くアマチュアゴルファー。Aクラスは昭和35(1960)年12月31日以前に誕生の者。Bクラスは年齢制限なし)



ONE FOR ALL

